

沼津市の

# 社協活動

2026



社会福祉法人沼津市社会福祉協議会

# 社会福祉協議会の沿革

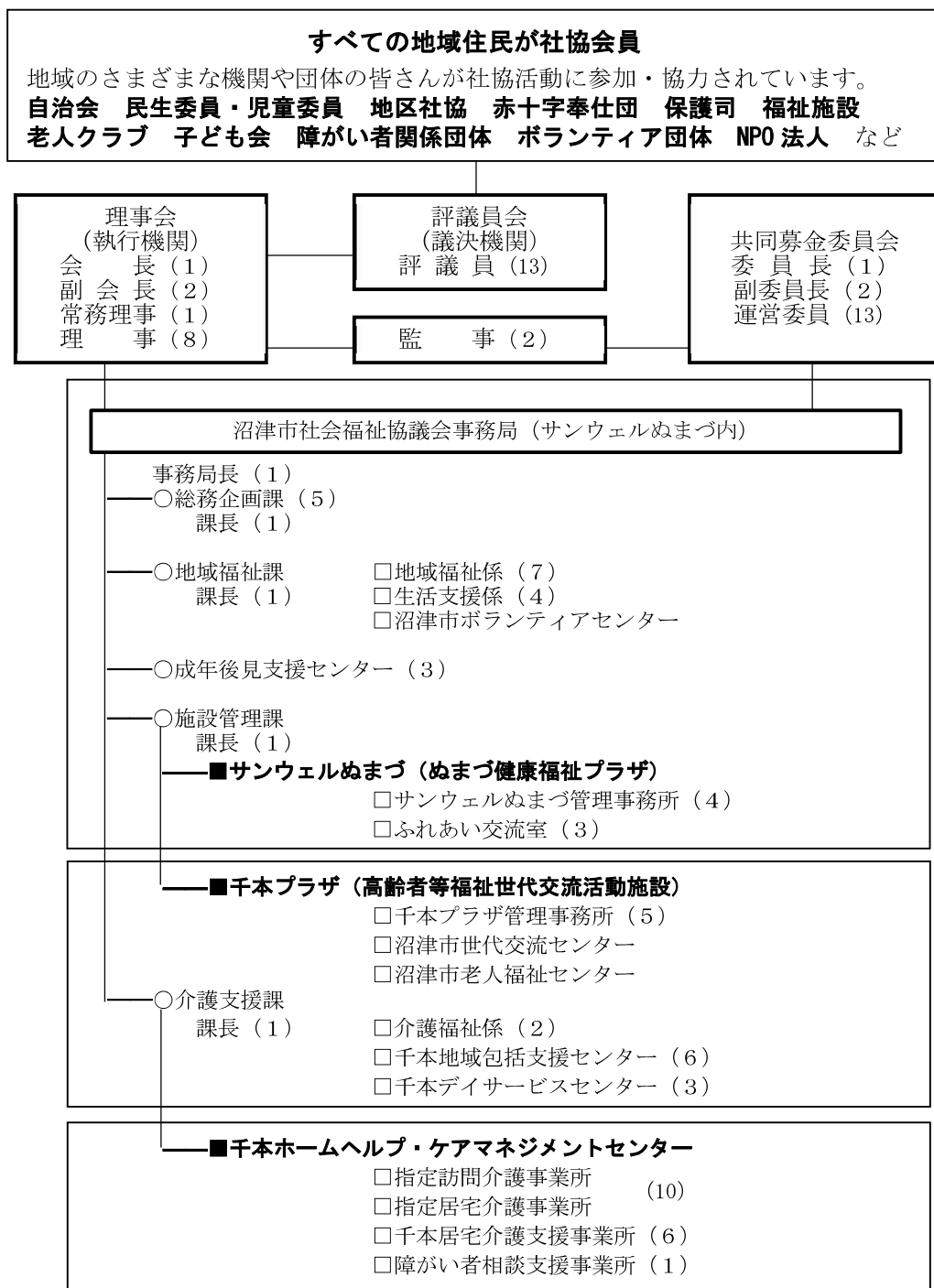
社会福祉協議会は、地域住民自らの福祉増進のために、住民が主体となり、社会福祉、保健衛生、その他の関連する公私関係者の参加協力を得て、住民の要望に即した活動を推進することを目的とした民間の自主的な団体です。

沼津市では昭和 26 年 10 月に設立され、全市民の理解と協力により組織活動を続けてきましたが、社会情勢の変化にともない更に社会福祉の向上を図るため、昭和 41 年 10 月に社会福祉法人の認可申請を行い、昭和 42 年 2 月 28 日に厚生大臣の許可を得、同年 3 月 11 日に法人として登記を行いました。以後、地域における民間福祉活動の推進機関として組織活動を展開し、地域福祉推進の中核組織として市民の皆さまとともに活動を続けております。

令和 8 年 6 月 1 日現在

## 社協のしくみ

( ) 内は人数です。



社協は住民主体の地域福祉をすすめる民間団体です

# 発刊にあたり

近年、わが国の社会福祉を取り巻く環境は、少子・高齢化や核家族化の進展により、介護・子育てに対するニーズが増大するとともに、一方では生活困窮、子供の貧困、高齢者の社会的孤立などが社会問題化するなど大変厳しいものがあります。また最近では、地震をはじめ異常気象による災害が多発し、地域住民の生活が脅かされることも多くなりました。このような中、地域社会における支えあい活動の取り組みは大変重要であり、その役割はますます大きなものとなってきております。

今年度（令和8年度）は、新たに作成した沼津市社会福祉協議会「第6次地域福祉活動計画」のスタートの年であり、基本目標に「ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」を掲げ、誰もが幸せを感じることでできる地域共生社会の実現を目指すこととしております。この計画では「つなぐ・つなげる」をキーワードとする3つの主な柱を設定しています。

一つめの柱、【福祉人材発掘・育成】では、児童、生徒に対する福祉体験活動をはじめ、各種ボランティア養成講座などを通じて、住民の福祉を知る機会の提供、情報発信、広報啓発などの推進を

二つめの柱、【福祉の地域づくり】では、地区ごとに生活支援コーディネーターを配置するとともに、地区社会福祉協議会等と連携し、住民主体の小地域ネットワークづくり、見守りネットワークの組織化、住民参加型在宅支援サービスの立ち上げ、普及などの支援を

三つめの柱、【福祉サービスの強化】では、安心な暮らしを守るため、成年後見制度の利用促進や災害時における支援活動整備の推進など、3つの柱それぞれの目標に向かい、計画を推進してまいります。

本書では、本協議会の活動について、令和7年度に実施した各事業の事業報告と、令和8年度の事業計画を中心に掲載いたしましたので、ぜひご高覧いただき、本協議会の事業運営にご理解を賜るとともに、今後の活動に対し、ご教示、ご協力をいただければ幸いです。

結びに、今年度も市民の皆様や関係機関の方々の参画をいただきながら、地域福祉ニーズに対応した事業の再編と体制整備を行い、地域に密着した福祉活動を更に推進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊のあいさつといたします。

令和8年7月

社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会

会 長 <sup>とぎ</sup> <sup>や</sup> 研 谷 明 正

# 目 次

## 令和7年度事業報告

第 1	社会福祉協議会の運営財源と令和7年度決算の状況	1
第 2	地域福祉推進事業	2
第 3	一般福祉対策事業	6
第 4	福祉総合相談事業	15
第 5	福祉資金貸付事業	17
第 6	権利擁護事業	19
第 7	ボランティアセンター事業	21
第 8	共同募金運動推進事業	28
第 9	在宅福祉サービス事業	31
第 10	福祉サービス事業の受託運営	36
第 11	役員運営に関する各種会議等の開催	50

## 令和8年度事業計画

	事業計画策定にあたって	53
第 1	重点活動	53
第 2	一般事業計画	54
第 3	令和8年度予算の概要	57
第 4	令和8年度年間事業計画	58

## 役員等名簿

第 1	沼津市社会福祉協議会理事・監事	62
第 2	沼津市社会福祉協議会評議員	63
	地区社会福祉協議会一覧表	64
	社会福祉法人沼津市社会福祉協議会の沿革	65

# 令和7年度事業報告

## 第1 社会福祉協議会の運営財源と令和7年度決算の状況

沼津市社会福祉協議会（以下「沼津市社協」）は、市民の方々が会員となる一般会員と、個人・法人の賛助会員、市内の社会福祉施設が加入する施設会員等の各会費収入と、市・県の補助金、受託金、共同募金からの配分金及び介護保険収入並びに善意の寄付金などの運営財源により事業運営を図っています。

特に、賛助会費については、民生委員・児童委員各位のご協力をいただき、鋭意、会員の加入増加に努めております。令和7年度の会費収入の内訳は、次のとおりです。

一般会費		1世帯 200円	市内全体	13,515,320円
賛助会費	普通賛助会費	1口 1,000円以上	1,813件	2,840,500円
	特別賛助会費	1口 5,000円以上	241件	1,475,000円
	福祉事業会費	1口 5,000円	77件	385,000円
合 計				18,215,820円

### 1 令和7年度社会福祉協議会会計収支決算の状況

収 入 合 計	830,619,584円
支 出 合 計	708,613,949円
差 引 残 高	122,005,635円

収 入	受 託 金 収 入	336,028,610円	40.45%
	介 護 保 険 事 業 収 入	204,406,771円	24.61%
	前 年 度 繰 越 金	137,867,942円	16.60%
	経 常 経 費 補 助 金 収 入	55,932,501円	6.73%
	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入	30,861,332円	3.72%
	会 費 収 入	18,215,820円	2.19%
	そ の 他 の 収 入	30,550,595円	3.68%
	寄 付 金 収 入	4,199,532円	0.51%
	事 業 収 入	11,851,893円	1.43%
	貸 付 事 業 収 入	334,752円	0.04%
	負 担 金 収 入	369,836円	0.04%

支 出	介 護 福 祉 事 業	274,171,873円	38.72%
	本 部 事 業	221,830,768円	31.25%
	ぬまづ健康福祉プラザ受託経営事業	124,026,939円	17.52%
	千本プラザ受託経営事業	88,384,969円	12.48%
	不 動 産 管 理 事 業	199,400円	0.03%

## 第2 地域福祉推進事業

### 1 地区社協活動の推進

地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）は、中学校区を単位に市内 20 地区で組織されており、それぞれの地域ニーズに対応した福祉活動が展開されるよう、各種関係団体と連携しながら地区社協活動の育成支援に取り組んでおります。

#### （1）世代交流活動の実施

住民相互のふれあいと連携意識の高揚を図る目的で、高齢者宅へお弁当の配布やもちつき大会等、地区の特性に応じた地域交流活動実施の支援を行いました。

また、高齢者の買い物支援もふくめた住民主体の移動販売「町の駅」が 2 地区で開催され、子どもから高齢者まで多世代が交流する場の支援も実施しました。

#### （2）子育て支援活動の実施

子育てをしている親及び子どもを対象に、子育てサークル活動を通じて親同士の交流と地域で子育てを支えることを目的とした、支援活動が各地区で実施される際の支援を行いました。

#### （3）健康づくり講座の開催

地域住民の健康づくりのため、ノルディックウォーキングや健康講座、体操教室などの開催支援を行いました。

#### （4）ボランティア活動の実施

住民主体の地域福祉の推進には、地域に根ざしたボランティア活動の実践が不可欠です。各地区社協では、高齢者等に対する様々なボランティア活動を実施しました。

#### （5）小地域ネットワーク活動の実践

地区社協を中心とした高齢者宅へのお弁当配布やサロンを通じた見守り活動の実施支援を行い、地域のつながりづくりを促進しました。

#### （6）先進地視察研修

地域課題の解決に向け、先進地の取り組みを学ぶ視察研修を行いました。令和 7 年度は、11 月 28 日に静岡県磐田市総合健康福祉会館 i プラザにて、持続可能な地域活動を目指し多様な主体と連携して地域の通いの場を展開している先進地区「磐田市中泉地区まちづくり協議会」を視察し、各地区の地域福祉活動に活かしました。

#### （7）地域福祉ワークショップの開催

人口減少・少子高齢化による地域活動の担い手不足に対し、医療機関と地域が連携した先進事例を学ぶワークショップを開催し、地区社協役員等総勢 63 名が参加し、自身の地区

を振り返り各地区の地域活動について検討しました。

## 2 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業は、介護保険法の中で高齢者が地域で自立した日常生活を送るための生活支援の充実・強化と、社会参加による介護予防の推進を一体的に図っていくことを目的とした事業です。

住み慣れた場所で健康で生きがいをもって暮らしていくために、それぞれの健康状態に応じて、介護予防や社会参加に努めながら必要な時に支援が受けられ、また、誰かが助けを必要とする時には、自分が支援する役割と出番のある地域づくりが必要になります。

令和7年度も沼津市社協が沼津市から委託を受け、市内全域（第1層）及び日常生活圏域（第2層）に「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、助け合い・支え合いを広げる仕組みづくりを推進しました。

### （1）高齢者の外出支援の担い手養成講座の開催

運転免許返納や路線バスの減少等により、移動困難者が増えている現状を踏まえ、住民同士の支え合いで行うため、移動支援の担い手養成講座を5月24日に愛鷹地区にて行いました。

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活する為には、免許を返納した後も、閉じこもりにならず、外出や人と交流する機会をもつことが重要です。公共交通機関の活用はもちろんのこと、住民同士の支え合いで行う移動支援の事例を学び、自身の運転技術の振り返りを行いながら、住民同士でできることを検討しました。地域住民26名が参加し、その内15名が、愛鷹地区移動支援実証実験の運転・付添ボランティアとして活動につながりました。

また、令和6年度に戸田地区で行った移動支援の担い手講座や検討会の結果、令和7年度には、居場所への送迎の実証実験を行いました。



（愛鷹地区での移動支援実証実験の様子）

### （2）協議体の開催

地域の関係団体等が集まり、福祉ニーズや課題の共有を行い、支え合いの仕組みづくりを検討する場「協議体」を市内各圏域で開催しました。

移動支援や生活支援サービスの検討、孤立孤独防止に向けた取り組み、いくつになっても住み慣れた場所で暮らせる地域づくり、居場所づくりなど、生活支援コーディネーターが進行役となり、様々なテーマで話し合いを行いました。

この話し合いを経て、新たな地域の居場所や、愛鷹地区での愛鷹地区移動支援実証実験が実施されました。

### (3) 地域ささえあい講演会の開催

地域でのリーダーとして活躍する方に向け、多様な主体による地域活動を周知し、新たな担い手の発掘と専門職との連携を促し、地域活動の内容充実を図ることを目的に講演会を実施しました。9月12日にサンウェルぬまづにて、市内4地区で実施している住民主体の生活支援・移動支援の実践発表を行い、地域住民等62名が参加しました。身近な地区での実践発表を受け、具体的に活動の検討をはじめた参加者もいました。

### (4) 居場所に関する相談支援、情報共有の実施

ふらっと立ち寄っておしゃべりをしたり、体操をしたり、趣味活動を行うなど、自宅以外のもう一つの拠り所である居場所づくりをしたい方への相談に応じ、立ち上げに向けた情報提供、支援を通年で行いました。また、9月29日には、居場所運営者同士の交流会を含めた居場所立上げセミナーを実施し、37名の参加がありました。居場所を新たに立ち上げたい方も参加し、実践者の助言を得て、創設に向けた動きにつながりました。

### (5) ICTの活用促進

高齢者の社会参加の方法として、スマートフォンやオンラインの活用は非常に効果的であることから、各地区で高齢者向けスマホ講座の開催の支援を行いました。沼津信用金庫デジタルサポーターと連携し、各地区でのサロンやイベント等にてスマホ講座を開催しました。

## 3 住民参加型在宅福祉サービス事業（名称：「ちょいてつサービス事業」）

地域の中での制度では対応できない生活上のちょっとした困りごとを解決するため、地域住民が主体となり「できるときに、できることを、できる人が、ちょっとしたお手伝いをする」を合言葉に、ボランティアとして活動する“ちょいてつさん”が、支援を必要とする人“おねがいさん”の在宅生活のサポートをする会員制の地域助け合いサービスを行いました。

ちょいてつサービス活動状況

	R7年度	R6年度	R5年度
おねがいさん（サービス依頼者）登録者数	255名	233名	185名
ちょいてつさん（ボランティア）登録者数	253名	242名	206名
実働数（1回30分）	2,591回	3,320回	3,279回

## 4 こどもの居場所づくりコーディネート事業

こどもが一人でも安心して過ごせる、住民主体のこどもの居場所の創設・運営支援を実施しました。居場所創設に向けての相談や、居場所活動を応援する支援者・団体とのマッチング、居場所活動の周知や参加者募集に関する広報の支援等を実施しました。

市民の皆様や、企業から食品や菓子、文房具等たくさんの寄付により、居場所に参加する子どもたちの元へ届けることができました。こどもの居場所は、新たに立ち上がった6ヶ所を加えた合計34ヶ所での活動となりました。

また、こどもの居場所づくりを行うボランティアを養成することを目的に、8月にこどもの居場所づくりセミナーを開催しました。5月と7月には居場所づくり実践者や関係機関との連絡会を開催し、居場所同士のネットワークづくりと協力関係の強化を図りました。



(こどもの居場所セミナー)



(企業からこどもの居場所にお米の寄付)

## 5 「沼津市介護家族の会」への支援活動

家庭で高齢者の介護にあっている人の当事者活動を育成、支援するために、関係者の協力により設立された「沼津市介護家族の会」が中心となって行う、介護家族のための茶話会、昼食懇談会、リフレッシュ交流会等の開催を支援しました。

令和7年度 沼津市介護家族の会への支援活動

	開催日・回数	参加人数
介護者リフレッシュ交流会	11月13日	9人
認知症介護家族のための茶話会	12回	延べ 131人
昼食懇談会	2回	延べ 47人



(認知症介護家族のための茶話会)



(昼食懇談会)

## 第3 一般福祉対策事業

※< >内は令和7年度の実績です。

### 1 援護事業（低所得階層対策等）

地域における社会福祉の一環として、低所得世帯などの自立更生と火災等被災世帯の問題解消を図ることを目的に、下記の法外援護の充実に努めました。

#### （1）医療援護

医療費の支払いが困難な低所得世帯に対する医療費援護は、令和7年度はありませんでした。 <0件/0円>

#### （2）災害援護

火災及び水害等により被災された世帯に対して見舞金を支給しました。 <火災 13件/120,000円>

#### （3）緊急援護

緊急かつ一時的な生活困窮状態にある世帯に対し、供給停止状態もしくはそのおそれのある水道光熱費用等を支給しました。 <12件/104,500円>

#### （4）食料配布相談会の実施

学校給食が停止する長期休暇中のこどもの食を守ることを目的に、2月21日に食料配布&困りごと相談会を行い、生活に困窮する26世帯へ食料品をお渡ししました。また、食支援をきっかけに子育てや生活に関する困りごとを把握し、困りごとの解決に向け、適切な機関へつなげる対応をしました。

#### （5）食支援ネットワークの構築

物価高騰等により食支援ニーズが増すなか、市内の支援者から集まる物資だけでは困っている世帯に食料品が行き届かない現状があります。企業や福祉施設、市民団体、こどもの居場所等と連携し、他県からの大口寄付を受け入れ、必要としている人へ食料品が迅速に行き渡るネットワークと環境整備に取り組みました。

## 2 児童福祉対策

民生委員児童委員協議会、子ども会育成連絡協議会ほか各種団体との連携を基に児童福祉対策の充実に努めました。

### （1）ひとり親福祉対策事業助成

ひとり親世帯に対しては、母子及び父子並びに寡婦福祉法により、その生活の安定と向上のため援護施策が推進されており、これらの諸施策に協力するとともにひとり親会の運営について助成を行いました。

区 分		金 額
助 成 金	沼津市ひとり親会事業助成	35,000 円

## (2) ヤングケアラー啓発事業

3月7日に「映画上映会とグループワーク」を開催し、21名が参加しました。ヤングケアラーを題材とした映画上映と参加者同士のグループワークをとおして、「人を思いやる」「気にかける」などケアの精神を学び、自身に何かできるのかを考える機会となりました。



(映画上映会)



(グループワーク)

## 3 高齢者福祉対策

本市においても、高齢化が急速に進む中、高齢者をめぐる環境や多様化するニーズに適応した高齢者福祉の充実に努めました。

### (1) 老人クラブ活動事業に対する助成

老人クラブ運営基準に基づき、市に協力して沼津市老人クラブ連合会の健全運営の援助や老人クラブの活動育成を図るとともに、各種事業に助成しました。

区 分		金 額
沼津市老人クラブ連合会助成金	運営助成金	45,000 円
	行事助成金	100,000 円

## 4 心身障がい者福祉対策

心身障がい者施策の趣旨普及を図るとともに、関係団体の事業に対し助成を行いました。

### (1) 車いすの貸出

在宅の高齢者や障がい者で緊急かつ一時的に車いすの借り受けを必要とする人、または福祉教育活動やボランティア活動を実施する学校やボランティアグループ等に対し、無償で車いすを貸し出しました。

<貸出件数/延べ 83 件>

## 5 福祉教育事業

### (1) 福祉教育の推進

福祉講話及び体験型の福祉出前講座を実施しました。また、市内の学校等からの福祉教育に関する相談に対応しました。

＜福祉出前講座／延べ 39 件＞

#### 令和7年度 福祉出前講座

日付	対 象	内 容
4/30	沼津市立開北小学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリー」
4/30	飛龍高等学校	民生委員との懇談会
5/8	沼津市立開北小学校	福祉体験「車いす、白杖」
5/15	沼津市立大岡南小学校	講話「福祉ってなんだろう？」
5/15	沼津市立片浜小学校	講話「福祉ってなんだろう？」
5/21	飛龍高等学校	講話「福祉の仕事について」
5/22	沼津市立第五小学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリー」
5/23	沼津市立片浜小学校	福祉体験「高齢者疑似体験、白杖」
6/3	沼津市立大岡小学校	講話「福祉ってなんだろう？」
6/10	沼津市立片浜中学校	講話「福祉ってなんだろう？」
6/12	沼津市立第五小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
6/16	沼津市立大岡小学校	福祉体験「車いす体験、ボッチャ、白杖」
6/17	沼津市立片浜小学校	福祉体験「車いす体験、ボッチャ」
6/19	沼津市立大岡南小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
6/19	沼津市立片浜中学校	福祉体験「高齢者疑似体験、理学療法士体験」
6/24	沼津市立大岡中学校	講話「福祉ってなんだろう？」
7/18	沼津市立愛鷹小学校	講話「福祉ってなんだろう？」
9/4	沼津市立第五小学校	福祉体験「点字」
9/10	沼津市立大岡小学校	福祉体験「点字」
9/11	沼津市立第五小学校	講話「手話」
9/16	沼津市立愛鷹小学校	講話「BF（バリアフリー）・UD（ユニバーサルデザイン）」 福祉体験「車いす、白杖」
9/19	沼津市立愛鷹小学校	講話「ボランティア」 福祉体験「高齢者疑似体験、ボッチャ」
9/19	沼津市立浮島中学校	福祉体験「点字」
9/19	沼津市立大岡小学校	講話「手話」
10/1	沼津市立片浜小学校	福祉体験「盲導犬利用者のお話」
10/7	沼津市立愛鷹小学校	講話「高齢者について」
10/8	沼津市立片浜小学校	講話「手話」
10/14	沼津市立大岡中学校	福祉体験「車いす」

日付	対 象	内 容
10/20	沼津市立浮島中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」
10/23	沼津市立第三小学校	講話「福祉ってなんだろう？」
10/30	沼津市立片浜中学校	福祉体験「盲導犬利用者のお話」
10/30	沼津市立第五小学校	福祉体験「ボッチャ」
11/4	沼津市立大岡中学校	認知症サポーター養成講座
11/5	沼津市立門池中学校	福祉体験「車いす、白杖、高齢者疑似体験、ボッチャ」
11/6	沼津市立浮島中学校	講話「手話」
11/7	飛龍高等学校	福祉体験「点字」
11/20	沼津市立片浜中学校	講話「支え合いの地域づくり」
11/27	沼津市立大岡中学校	HUG
3/9	J Aふじ伊豆	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」



(福祉体験「手話」)



(福祉体験「車いす」)

## (2) 小学生福祉体験講座

11月8日に「キッズケア～未来の自分を見つけにいこう～」と題し、福祉の職業に対する理解を深め、普段の生活の中で、困っている人に対し、自分は何ができるのかを考えるきっかけ作りを目的に福祉に関連する職業体験を実施しました。参加した小学校4年から6年の児童は、「管理栄養士」、「保育士」、「薬剤師」の職業の体験を楽しみながら福祉についても学ぶことができました。また、講座の内容を取りまとめた福祉体験新聞『福祉のこころはぐくみ新聞』を発行し、市内小学校に配布しました。



(福祉に関連する職業体験)



(市内小学校へ配布した福祉体験新聞)

## 6 重層的支援体制整備事業

重層的支援体制整備事業は、子ども・障がい・高齢・生活困窮などの分野別の支援体制では対応しきれない複雑化・複合化した課題に対して、分野を横断し一体的となって取り組むための包括的な支援体制を整備する事業です。

### (1) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（沼津市委託事業）

複合的な課題（ひきこもり、生活困窮、精神疾患など）を抱えながらも、自ら支援を求めることができない、あるいは支援を拒否している人々に対して、積極的に家庭訪問や関係構築を行い、必要な支援を届けました。 <訪問回数／延べ 55 件>

## 7 広報啓発事業その他

地域福祉の中核組織として活動する沼津市社協に対する理解と協力を求めるとともに、市民の福祉意識高揚と地域活動の促進を図る目的で、種々の広報啓発活動に取り組みました。また、地域福祉の増進に向けた協定を締結し、各団体との連携の強化を図りました。

### (1) 広報事業

沼津市社協の活動や種々の福祉情報を広く市民に広報するとともに、民間福祉活動に対する理解と福祉意識の高揚を図ることを目的に「社協だより」を4回発行し、沼津市全世帯に配布しました。また、市内の視覚障がい者を対象に「声の社協だより」を制作し、配布しました。このほか、市民の地域福祉活動への理解と参加を広めるために、広報啓発資料の作成、配布に努め、Instagram、Facebook、X、公式LINEなどのSNSを活用し、広く市民へ情報提供を行いました。

### (2) チャリティーバザーの開催

民間の地域福祉活動を推進し、市民に対する福祉意識高揚のための啓発事業として、沼津市赤十字奉仕団との共催で10月18日にサンウェルぬまづにてチャリティーバザーを開催しました。バザー収益金582,730円は災害対策の準備金や地域福祉の推進に活用いたします。

また、ブックオフコーポレーション株式会社が行う、本・CD・DVDなどを回収し、その査定相当額が福祉活動に寄附される宅配買取寄附サービス「キモチと。」に取り組み、2,850円のご協力をいただきました。

### (3) 福祉施設地域福祉活動啓発事業

地域福祉推進のために福祉施設が持つ専門的機能・設備を地域社会への開放及び、福祉施設による地域福祉の啓発事業を促進することを目的とし、「沼津市福祉施設連絡協議会」を活動の中核として、6月10日に福祉施設連絡協議会施設長会議及び福祉研修会、2月13日に福祉施設職員研修交流会を開催しました。

#### (4) 第29回沼津市社会福祉大会の開催

沼津市との共催により、第29回沼津市社会福祉大会を9月3日に開催し、すべての市民が主体的に福祉活動に参加し、地域福祉への理解を深め、互いに支え合う地域共生社会の実現を目指すため、福祉人材の発掘・育成に努め、地域の福祉力を育み、福祉サービスの充実強化を図ることで、ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくりを目指すことが、大会宣言として採択されました。なお、多年にわたり社会福祉事業の推進に功績のあった140人の皆さまに対し、それぞれ表彰状と感謝状を贈呈しました。

また、記念講演会は「地域が支える・地域を支える～災害時のたすけあいの仕組み～」と題して、“特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク”代表の李 仁鉄氏を講師にお招きし、パネリストに“しぞ〜か・まめっ隊”代表の千代 幸嗣氏と“河津桜ボランティアセンター”代表の玉木優吾氏を迎えた上で、実際の活動内容や沼津市が大雨により被災した際にも災害支援活動をした中で感じたことや触れたことなどの話から、日ごろからの顔の見えるご近所や地域の“つながり”の延長上に、災害時にも生きる繋がりがあるということについてお話いただきました。

ほかにも、市内福祉施設等による販売会も行い、福祉に対する理解、啓発を行いました。大会全体として、延べ220人の参加がありました。



(記念式典)



(記念講演)

#### (5) 地域福祉活動計画推進事業

第5次地域福祉活動計画の進捗状況の報告と委員による協議を行う、地域福祉活動計画推進委員会を3月18日に開催しました。推進委員等7名が参加し、ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくりのための方向性の確認と、今後の展開について協議しました。

#### (6) 沼津夏まつり狩野川灯ろう流し参画

沼津夏まつり実行委員会の灯ろう流し部会に参画し、夏の狩野川の風物詩として市民に親しまれている狩野川灯ろう流しを、狩野川左岸河川敷にて7月25日に実施しました。

### (7) 無縁仏慰霊法要の開催

沼津市仏教会の協力により、市営墓地に眠る無縁仏諸精霊の追悼会を6月23日に沼津市斎場にて開催し、関係者が列席する中、おごそかに法要が執り行われました。



(無縁仏慰霊法要の様子)

### (8) 耳の日記念講演会の開催協力

沼津市役所福祉事務所、静岡県立沼津聴覚特別支援学校、沼津市聴覚障害者の会と協力し、2月25日にサンウェルぬまづ多目的ホールにて「第70回耳の日記念講演会」を開催しました。多摩市聴覚障害者協会・顧問の赤星孜氏を講師に迎え、「私の戦争体験記～満州から朝鮮への逃避行、九死に一生を得る～」と題して講演いただき、120名の来場がありました。



(耳の日記念講演会の様子)

### (9) 地域福祉の増進に向けた連携協定の締結

第5次地域福祉活動計画の基本目標である「ともにつながり、ともにささえあう元気なまちづくり」の実現のために、相互の資源を活用し、災害時の迅速対応が出来るよう、各団体と連携協定を締結しました。

#### 令和7年度 連携協定等締結状況

	締結日	協定先
①	7/20	隊友会沼津支部
	内容	自然災害発生時における沼津市災害ボランティアセンターの支援に関する連携協定
②	1/17	裾野市社会福祉協議会、長泉町社会福祉協議会、清水町社会福祉協議会
	内容	災害時における相互応援協定



(①隊友会沼津支部との連携協定)



(②裾野市社協、長泉町社協、清水町社協との相互応援協定)

## 第4 福祉総合相談事業

市民の様々な福祉・生活相談に応じるとともに、適切な生活援助や福祉サービスに結びつけるために、福祉に関する総合相談事業を実施しました。

また、福祉総合相談所運営委員会を設け、相談機関連絡会の開催、相談員研修やケースケア検討会等を実施し、相談体制の充実と相談所の効果的な運営に努めました。

### 令和7年度 ふれあい福祉相談センター窓口

相談名	開設日時	開設場所	相談内容	
福祉総合相談所	福祉生活相談	土・日曜日・祝日・ 休館日を除く毎日 10時～12時 13時～15時 (電話最終受付 14時30分)	サンウェルぬまづ	生活上の心配ごとについての相談
	結婚相談	祝日・休館日を除く 第1・第4水曜日、 第2日曜日 10時～12時 13時～15時 結婚相談登録会(計4回) (女性専用相談室有り)	サンウェルぬまづ	登録制による結婚相手に関する相談
	ボランティア 相談	毎週月～金曜日 9時～17時	サンウェルぬまづ	ボランティア活動に関する相談
		毎月第1・第3金曜日 10時～15時 ボランティア連絡協議会 による相談を実施		
健康・介護相談	祝日・休館日を除く 第1・第3水曜日 10時～12時	サンウェルぬまづ	本人及び家族の健康、持病との付き合い方や大病後の生活習慣、子どもの身体測定など、健康や介護予防に関する相談	

### 令和7年度 ふれあい福祉相談センター月別集計(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉生活相談	5	1	10	8	4	3	7	11	4	3	3	5	64
(事務局対応)	2	2	6	0	1	0	1	1	1	0	3	1	18
結婚相談	20	37	18	19	13	42	30	26	9	37	59	41	351
ボランティア相談	5	9	11	9	4	13	6	12	10	7	4	13	103
健康・介護相談	16	9	8	5	17	12	13	6	13	13	14	9	135
合計	48	58	53	41	39	70	57	56	37	60	83	69	671

※福祉資金貸付の相談は「第5 福祉資金貸付事業」にて集計しています。

令和7年度 ふれあい福祉相談センター処理状況（件数）

相談内容	処 理 状 況					
	解決	継続	他機関 引継	他機関 紹介	その他	計
1 生 計	0	2	17	2	2	23
2 年 金	1	0	0	0	0	1
3 職 業 ・ 生 業	0	0	1	2	0	3
4 住 宅	0	1	0	1	0	2
5 家 族	3	17	1	2	0	23
6 結 婚	0	0	0	0	351	351
7 離 婚	0	0	0	0	0	0
8 健 康 ・ 衛 生	0	0	1	0	135	136
9 医 療	1	0	1	0	0	2
10 精 神 保 健	0	1	1	1	0	3
11 人 権 ・ 法 律	0	0	0	0	0	0
12 財 産	0	0	0	0	0	0
13 事 故	0	0	0	0	0	0
14 児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0
15 教 育 ・ 青 少 年	0	0	0	0	1	1
16 心身障がい者(児)福祉	0	0	0	1	0	1
17 母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0
18 高 齢 者 福 祉	0	1	3	1	0	5
19 苦 情	0	0	0	0	0	0
20 そ の 他	1	4	6	5	104	120
合 計	6	6	26	31	15	671

## 第5 福祉資金貸付事業

※< >内は令和7年度の実績です。

### 1 高額療養費支払資金貸付

高額療養費の支払に困窮する国民健康保険の被保険者に対し、その経済的自立を助長し、その世帯の生活の安定を図ることを目的に、無利子での資金貸付を行い、低所得者の福祉向上に努めました。  
 <10件/367,869円>

### 2 生活福祉資金貸付

生活福祉資金貸付制度は、「本則貸付」として、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

また、「特例貸付」として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、減収となった世帯への貸付償還相談を実施しました。

令和7年度 生活福祉資金月別相談集計（件数）

本則貸付 償還相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	48	66	52	70	34	79	104	63	54	64	66	100	800

※「本則貸付」とは、通常時に適用される本来の貸付の制度。

令和7年度 生活福祉資金貸付状況

区 分		件 数	金 額
緊急小口資金	本 則	0件	0円
総合支援資金	本 則	0件	0円
教育支援資金	教育支援費	1件	130,000円
	就学支度費	1件	440,000円
合 計		2件	570,000円

令和7年度 生活福祉資金コロナ特例月別相談集計（件数）

コロナ特例 償還相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	31	99	164	168	173	200	208	185	207	187	107	192	1,921

※「特例貸付」とは、大規模災害や感染症拡大などの際に設けられる特別な貸付の制度。

令和7年度 生活福祉資金償還状況

区 分		件 数	金 額
緊急小口資金	コロナ特例初回 （償還免除）	36件	3,614,800円
総合支援資金	コロナ特例初回 （償還免除）	29件	11,632,040円
	コロナ特例延長 （償還免除）	10件	3,495,250円
	コロナ特例再貸付 （償還免除）	13件	6,035,000円
コロナ特例償還免除フォローアップ 合計		88件	24,777,090円

### 3 臨時特例つなぎ資金貸付

離職者を支援するための公的給付制度または公的貸付制度を申請している住居の無い離職者に対して、交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けることにより、その自立を支援することを目的とした制度です。

<0件/0円>

## 第6 権利擁護事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、権利や利益が守られ、安心して生活できる環境が必要です。そのためには、地域住民の権利擁護意識の高揚や日常生活自立支援事業などの福祉サービスの実施、市民後見人の育成を含めた成年後見制度の推進が必要です。これら各事業の充実と推進を行いました。

### 1 日常生活自立支援事業（静岡県社会福祉協議会委託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力に不安があるため、福祉サービスの利用の仕方が分からない人、預貯金の出し入れに困っている人等を対象に、福祉サービスの利用手続き、公共料金の支払い手続き、金銭管理の援助、書類管理等を支援することを目的に、日常生活自立支援事業を進め、専門員による相談から契約締結に至るまでの手続きや、支援員による支援活動を提供しました。

### 2 成年後見事業（沼津市委託事業）

#### （1）沼津市成年後見支援センターの運営

「沼津市成年後見支援センター」において、沼津市民に対する成年後見制度の促進を図るため、広報、相談の窓口として運営しました。今後も周知活動を通じて適切な制度利用を推進していきます。

12月には、沼津市内の介護・障がい分野の現場職員、入院病床のある医療関係者に向けた講演会を開催し、50名が参加しました。また、参加方法も会場参加とオンライン参加のハイブリッド型としました。

成年後見制度の促進において、様々な関係機関との連携が必須となることから、ネットワーク形成のため、成年後見制度推進協議会を開催し、事業の運営方針、事業の報告について意見を出し合いました。

令和7年度より、市役所や関係機関で支援しているケースで、後見制度利用にあたり会議に諮る必要があると判断された事案について、課題の整理や適切な受任者団体について検討を行うケース検討会議を開催しました。隔月での定期開催に加え、緊急で検討が必要な事例が発生した場合には臨時開催を行うこととし、臨時開催を含め計7回開催しました。

#### （2）市民後見推進事業

成年後見制度において、現在、親族以外の第三者が後見人となるケースは全体の8割まで上昇しています。一方、第三者後見人を担う専門職の受け皿不足が制度推進上の喫緊の課題となっており、新たな担い手として市民後見人に大きな期待が寄せられています。

沼津市社協では、裾野市、長泉町、清水町の行政及び社協と協力し、2市2町成年後見事業推進委員会を設置し、推進委員会を広域分として3回、沼津市分として4回開催しました。

また、沼津市市民後見人支援センターとして、年2回のフォローアップ研修を実施しました。第1回は司法書士の方を講師としてお招きし、事例を基にグループワークを行い、意思

決定支援やチーム支援の重要性を学ぶ機会となりました。第2回は社会福祉士の方を講師としてお招きし、障がいのある方への支援について、捉え方や特性、福祉サービスや相談先など実務に直結する内容の講義とグループワークを行うなど、市民後見人候補者への支援に努めました。

市民後見人活動も評価される中、沼津市では11人の市民後見人が選任されています。

#### 市民後見人 選任実績

年度	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
新規選任人数	0人	0人	0人	1人	2人	2人
受任件数	1件	0件	0件	2件※	3件※	2件

※同一の市民後見人が複数件を受任

### 3 法人後見の受任

第三者後見の担い手として市民後見人が推進される一方、法人による後見にもその役割が期待されており、特に社会福祉協議会には、日常生活自立支援事業で培った実績や住民との信頼関係を活かし、その役割を果たすことが期待されています。

沼津市社協においても法人後見を受任し、沼津市民の権利擁護を行いました。

## 第7 ボランティアセンター事業

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズの把握に努めるとともに、機関紙等の発行啓発宣伝活動を進め、各種講座・行事の開催により市民のボランティア意識の高揚とボランティア活動への参加を促進しました。

### 1 ボランティアに関する相談援助活動

ボランティアコーディネーターを配置してボランティア活動に関する市民の様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めました。公式LINEを活用しての情報発信も行いました。相談や、周知広報から多くの方がボランティア活動につながりました。

また、ボランティア活動の経験豊富なボランティア連絡協議会役員によるボランティア相談を毎月第1・第3金曜日に開催しました。

令和7年度 ボランティア相談月別集計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	9	11	9	4	13	6	12	10	7	4	13	103

※再掲

令和7年度 ボランティア登録状況

個人	団体	
214人	73団体	440人

※ボランティアセンター登録団体のボランティア保険加入数より算出

令和7年度 子育て支援ボランティア活動実績月別集計（件数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	23	32	33	35	19	24	26	25	16	18	24	23	298
学生	3	1	7	24	82	4	4	6	8	2	1	12	154
合計	26	33	40	59	107	31	30	41	32	20	25	35	452



（ふれあい交流室でのイベントや消毒等のお手伝い）

## 2 ボランティア育成研修

ボランティアの育成、研修を目的に、各種ボランティア講座、ボランティア学習プログラムを実施し、ボランティア活動の活性化に努めました。

### (1) 中高生ふれあい交流事業

8月7日に地域の中高生が、知的障がいのある子どもたちとの交流をとおして福祉課題について考え、ノーマライゼーションの視点を養う機会を設け、青少年ボランティアを養成することを目的に、中高生ふれあい交流事業を実施しました。参加した6人の中高生は、非営利活動法人こころのままの講師による障がいについての事前学習のあと、障がいのある子どもたちとのレクリエーションや創作活動を交えた交流を行い、相互理解を深めました。



(創作活動での交流)

### (2) サマーショートボランティア活動計画

8月に学校の夏休み等を利用して、県内各地の福祉施設でボランティア活動を体験するサマーショートボランティアを、県ボランティア協会との共催により実施しました。

### (3) ちょいてつサービス養成講座

地域における福祉課題を学ぶと同時に、その福祉課題の解決のために活動する生活支援サービスの担い手である“ちょいてつさん”を養成する事を目的に、4月2日に東都大学沼津キャンパスの学生75名を対象に、また5月27日には愛鷹地区芝原町公会堂にて地域住民11名が参加し、生活支援ボランティアの活動者を養成しました。また、既に“ちょいてつさん”として登録されている方を対象に、活動の理解を深めると同時に、活動に役立つ多様な実技や知識を学ぶための「フォローアップ講座」を9月26日に開催し、10人が受講しました。

### (4) やさしい精神保健福祉ボランティア養成講座

市民の精神保健福祉に対する意識の向上を図り、共に生きる福祉のまちづくりの実現を目的に10月25日に実施し、24人が受講しました。専門家の講義と当事者の話を通じて、精神障がいや精神保健福祉についての理解を深めました。



(専門家の講義)



(万華鏡づくりの体験)

### (5) こども学習支援ボランティア講座

子育てを支えるボランティア活動の育成と組織化を図り、子どもの居場所運営者の実践報告から、地域で行われている子育て支援の現状や必要性を学び、活動につなげることを目的に、9月27日にサンウェルぬまづにて開催しました。市民20名が参加し、こどもの居場所の立ち上げや、居場所のボランティア活動につながりました。



(運営者の実践報告)

### (6) 傾聴ボランティア講座

地域で孤立している高齢者、子育て中のお母さんなど、様々な問題を抱えている人たちの孤独の解消と地域福祉の推進を図るため、傾聴に必要な知識、相談技術の講習を行い、傾聴ボランティアとしての質の向上を図ることを目的として1月22日に開催し、40人が受講しました。



### (7) 企業ボランティア養成講座

地域の困りごとに企業が社会貢献として関わられるように「企業の社会貢献セミナー」を6月2日に開催し、16名が参加しました。実際に活動している地域の団体と、企業の実践発表を行いました。参加者にとって、企業や一個人としてできることを真剣に考える機会となり、実際に1件の立ち上げにつながりました。

### (8) 沼津市災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時において効果的なボランティア活動を行うにあたり、ボランティアの受け付けや仕事の配分などの調整拠点となるボランティアセンターにおいて、中心的な役割を担うコーディネーターを養成する養成講座を5月17日、5月18日の2日間の日程で開催し、17人が受講しました。また過去の講座修了生に向けた学習機会と情報提供を目的とするフォローアップ研修会を3月14日に開催し、29人が受講しました。



### (9) 技術系災害ボランティア（プロボノ）について知る講座

災害発生時に通常のボランティアでは対応が難しい、床板剥がしなどを行える特殊な知識・技能を持つ技術系ボランティアの活動内容について周知することを目的に12月6日に開催し、13名が受講しました。「しぞ〜か・まめっ隊」を講師に迎え、座学と体験学習を実施し、参加者からは、技術系ボランティア活動について知ることができた、実際に活動に参加してみたいとの感想がありました。



(技術の体験学習)

### 3 ボランティア交流・研修事業

東日本大震災被災地支援の一環として、沼津市ボランティア連絡協議会が10月18日のチャリティーバザー内で「東北震災支援物産展」を開催しました。2月には、静岡市で開催された静岡県ボランティア協会によるボランティア研究集会に参加し、講演や分科会など情報の交換をとおして、ボランティア同士のネットワーク作りの機会となりました。

### 4 ボランティアグループ等への活動助成事業

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、当ボランティアセンターの登録者に対し、ボランティア保険加入料の助成を行いました。

また、地域で種々のボランティア活動を継続的に展開しているボランティアグループへ、活動費の助成をしました。

令和7年度 ボランティアグループ助成実績

種別	対象	助成金額
ボランティア保険加入助成	440人	88,000円
ボランティアグループ活動助成	21グループ	986,000円

### 5 災害ボランティア活動

8月6日に発生した「鹿児島・熊本大雨災害」に伴い、被災地支援のため、鹿児島県霧島市に災害ボランティアセンター運営支援調整職員1名を派遣しました。

また、9月5日に発生した「台風15号による突風被害」に伴い、被災地支援のため、静岡県伊東市へ災害ボランティアセンター運営支援調整職員1名、同県榛原郡吉田町へ災害ボランティアセンター運営支援調整職員2名、応援職員2名を派遣しました。

現地では、被災後の調査、災害ボランティアセンターの立ち上げ支援や運営補助業務に従事し、円滑な支援活動の基盤構築に尽力しました。この派遣で得た運営ノウハウを本市の地域福祉計画に共有し、今後の災害時における受援体制の強化に繋げてまいります。

## ◇沼津市ボランティアセンター登録のボランティア団体・グループ活動一覧

令和8年3月26日現在（休止中の団体除く） 順不同

No.	グループ名	活動内容
1	沼津市ボランティア連絡協議会	サンウェルぬまづでのボランティア相談（毎月第1・3金曜日）ほか
2	点訳グループ かたつむり	視覚障がい者のニーズに対応した点訳活動。点訳者養成講座の開催*
3	ひまわり	視覚障がい者のニーズに対応した点訳図書の製作
4	拡大図書グループ ささぶね	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動。講習会の開催*
5	拡大図書グループ あい（木星会）	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動
6	沼津木星会	視覚障がい者のニーズに対応した点訳・録音・拡大図書制作活動の推進
7	録音グループ オカリナ	視覚障がい者向けの録音図書を作成する*
8	NPO 法人 マム	障がい児（者）生活支援、障がい児療育支援、イベント企画
9	ひまわり GO! 実行委員会	障がいのある人たちの、列車の旅の手伝いと交流
10	ほのぼの会	精神障がい者との交流。精神保健福祉の啓発活動
11	ヒューマン・リレーション・クラブ	アドラー心理学をいかして地域の人たちの人間関係作りを支援する「勇気づけの会」を開催
12	ほっとカフェ文化村	音楽を通じて誰もが楽しめるサロン活動、住まいや暮らしの相談会
13	くるらの家	戸田地域の住民の交流の場。社会参加と介護予防に取り組む
14	傾聴ボランティア うさぎ	福祉施設や病院、個人宅に向向いての傾聴ボランティア活動
15	NTTロータスイーターの会	ロータスクーポン・古切手・ベルマークの収集、整理
16	沼津おもちゃ病院	子どものおもちゃの修理と簡易な手作りおもちゃ作成
17	古城流会	福祉施設・老人会等における講談活動
18	沼津奇術研究会	マジックショー、マジック教材使用によるレクチャー
19	日本棋院沼津支部	各福祉施設及び学校での囲碁指導
20	沼津健康麻雀協会	高齢者を対象に健康麻雀の基礎技術・ルール・マナーを学ぶ。各地区老人会、施設等に出席講習を行う
21	夢ある人づくり塾DSブエルト	中高年のセカンドライフを支援する交流拠点づくり
22	ぬまづ観光ボランティアガイド	沼津の観光振興とぬまづの宝100選を中心としたガイド
23	みやこ会	老人ホームや地域の老人会等への演芸サービス（踊り）
24	（舞踊 三喜流）万里花会	高齢者施設への慰問（舞踊）、障がい児（者）施設へ盆踊りの指導や行事に参加（踊り）
25	Nā Lima Ke Aloha	ハワイアンミュージック、フラダンスを通じたボランティア活動
26	フィットネスフラ Aqua（アクア）	エクササイズ様式による健康増進活動、ボランティア活動への参加
27	レイナニフラスタジオ	敬老会・老人ホーム等での慰問活動、アロハライブ・チャリティーイベントの参加
28	沼津からALOHAを届けよう！	チャリティーイベントの主催、ビーチクリーンなどの清掃活動
29	静岡県福祉レクリエーション連盟 レインボーハート東部	車椅子ダンスや民謡を踊り、ともに楽しむレクリエーションを行う
30	衣の会	福祉施設への訪問、行事への参加協力、舞踊
31	戸田漁師踊 漁師唄保存会	県指定無形民俗文化財の伝承、公開、訪問活動
32	沼津中央高等学校吹奏楽部	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動
33	沼津ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、老人施設、病院での訪問コンサート
34	千本ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、施設入所者や障がい者を招待したコンサート
35	ミラクル☆フルーツ	福祉施設・病院等でのコンサート（フルーツ三重奏）
36	ライオンズ	病院や施設での演奏活動
37	K&Y	ギター、キーボードによる音楽演奏
38	沼津吹奏楽団	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動
39	NPO 法人 びくにつく	老人福祉施設への訪問、音楽活動。歌詞カードを持って誰もが口ずさめる歌を一緒に歌う
40	沼津太極拳楽友会	太極拳の指導普及活動で住民の皆様の健康増進を図る
41	ほっこりら	医療的ケア児のママたちの仲間づくり及び情報交換できるネットワークづくり（ピアサポート）
42	子遊会	地域子ども達に遊び場を提供、地域子ども達と料理し会食
43	大平見守り隊「KIZUNA」	高齢者の見守り。プレゼント作り
44	沼津中央高等学校	福祉施設への訪問、行事への参加協力
45	沼津東高等学校	ボランティアの告知・推進
46	沼津を世界一綺麗にする会	沼津市内のボランティア清掃

No.	グループ名	活動内容
47	ビューティフルアース	千本浜より西側のビーチクリーン活動
48	未来の希望クラブ	海岸清掃（片浜）、ペットボトル・空缶回収
49	NPO 法人環境整備 森と竹で健康クラブ	沼津市、富士市、裾野市、長泉町などの森林・里山の整備
50	沼津地球温暖化研究会	学校や施設等で地球温暖化について解説、議論し理解を深める
51	戸田 花の会	園芸ボランティア活動
52	NPO 法人 戸田塩の会	戸田地域活性化事業、海、海岸の環境保全活動
53	戸田せっけんの会 ラ・メール	地域の環境保全を目的に廃油をリサイクルしたセッケン作りに取り組む
54	ふじのくに多文化共生ネット	多文化共生の地域づくり
55	NPO 法人臨床心理オフィスBeサポート	地域社会への心のサポート全般
56	沼津市災害ボランティアコーディネーター協会	災害V本部運営訓練、災害時の募金活動ほか
57	NPO 法人日本沼津災害救援ボランティアの会	救急法等の講習会、講演会の開催や災害発生時の救援活動
58	りんどう	各種ボランティア活動に協力
59	動物ノート	動物愛護貢献ボランティア
60	沼津自分史づくりの会	施設入所の高齢者等の自分史づくりのお手伝い
61	学校法人 誠恵学院 誠恵高等学校	ボランティアの告知、推進。出張コーヒーコーナー
62	加藤マンドリン楽団	マンドリン・ギターによる演奏、老人施設、地域イベントによる演奏
63	就労継続支援B型事業所ふらのあ	ペットボトル・アルミ缶スチール缶回収、清掃活動
64	ボランティア団体 Water Origin of Light (花の会)	市管理の公園・公道の緑地活動（歩道のゴミ拾い、草取り等）
65	任意団体ひといろ	地域でのグリーンケアを実践。地域住民向けの居場所づくり
66	みんなのふわり	不登校の悩みを抱える親子を中心に、居場所を提供
67	N式カナスタ普及会	仲間作りとカナスタの普及を行うと伴に認知症予防を兼ねる
68	爺婆寿	福祉施設や病院慰問。楽器演奏のボランティア（バイオリン、ウクレレ、ハーモニカ、カサネ）
69	高齢者健康麻将教室	認知症予防のための麻将教室を開催
70	ぬまづグリーンウェーブ	清掃活動（川、海のゴミ拾い）
71	沼津から富士山ゼロゴミ隊	山の清掃活動（愛鷹山、富士山など）
72	青空パフェ	地域でのボランティア活動を通じた、子どもたちの健やかな成長と子ども支援団体への協力
73	(一社)沼津御用邸前の海岸から地球を綺麗にする会	海岸清掃

#### 沼津市ボランティア連絡協議会

市内の各地域で活躍するボランティアグループ及び個人ボランティアによる自主的な連絡組織です。ボランティアの横のつながりを広げていくことを目的に、交流会、研修会を開催しています。

**問い合わせ先 沼津市ボランティアセンター**

沼津市日の出町 1-15 サンウェルぬまづ内 ☎055-922-1500 Fax055-922-1502

## 第8 共同募金運動推進事業

### ◇赤い羽根共同募金運動

#### (1) 募金運動

共同募金は、赤い羽根をシンボルとして、10月1日から12月末日までを運動期間とし、地域住民がお互いの幸せを求める自主的な運動として活動を続けてきました。

令和7年度も、赤十字奉仕団、自治会、民生委員・児童委員、小・中・高校生によるボランティア等の強力な支援により全市民運動として展開され、次のとおりの成績を収めることができました。

令和7年度 赤い羽根共同募金の状況

区分	募金実績額	後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	9,497,980円 (2,767,000円)	14,400円 (14,400円)	9,512,380円 (2,781,400円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	1,934,311円 (1,591,923円)	0円	1,934,311円 (1,591,923円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	354,170円 (60,232円)	32,038円 (0円)	386,208円 (60,232円)	学校、幼稚園 保育園(所)
4 街頭募金 (うち沼津受け)	256,107円 (256,107円)	0円	256,107円 (256,107円)	街頭募金
5 その他の募金 (うち沼津受け)	187,674円 (81,823円)	14,054円 (1,054円)	201,728円 (82,877円)	個人・団体、 設置募金箱ほか
合計 (うち沼津受け)	12,230,242円 (4,757,085円)	60,492円 (15,454円)	12,290,734円 (4,772,539円)	

県共同募金会の目標額14,929,000円に対し、達成率82.3%

#### (2) 共同募金助成状況 (前年度の募金実績による助成)

令和7年度 県共同募金会からの沼津市社会福祉協議会活動への助成金

事業区分	金額	助成目的	内容
老人福祉活動	690,000円	団体支援	高齢者に対する居場所づくりの運営、老人クラブの諸行事について支援
障がい児・者 福祉活動	101,000円	団体支援 「声の社協だより」発行	障がい児・者に関する当事者団体等の諸行事について支援 目の不自由な方へ、広報誌を音声で届けることへの支援
児童・青少年 福祉活動	761,325円	育成活動支援 子どもの居場所運営事業	児童・青少年に対する居場所づくりの運営、その他団体の諸行事について支援

事業区分	金額	助成目的	内容
福祉育成・援助活動	1,231,935 円	ボランティアグループ活動助成 学生ボランティア育成	福祉体験、ボランティア等の育成、ボランティア団体の活動について支援
地区社協育成事業	3,484,000 円	地区社協支援	地区社会福祉協議会の活動について支援
食糧支援事業	673,081 円	ひとり親、困窮者等支援	ひとり親家庭や生活に困窮する家庭へフードボックスを配布する活動について支援
緊急援護費	104,500 円	ライフライン復旧支援	生活にお困りの方のライフラインの復旧に掛かる一時的な費用として
災害援護費	120,550 円	災害援護	災害による見舞金として
合 計	7,166,391 円		

## ◇歳末たすけあい運動

### (1) 募金運動

共同募金運動の一環として、12月1日から同末日までを運動期間とし、民生委員・児童委員、赤十字奉仕団、自治会等が主体となり実施されました。各方面から格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられ、次のとおりの成績を収めることができました。

#### 令和7年度 歳末たすけあい募金の状況

区分	募金実績額	後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	5,481,636 円 (947,900 円)	57,600 円 (10,200 円)	5,539,236 円 (958,100 円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	329,380 円 (31,380 円)	0 円	329,380 円 (31,380 円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	245,105 円 (24,119 円)	100 円 (0 円)	245,205 円 (24,119 円)	学校、幼稚園 保育園(所)
4 その他の募金 (うち沼津受け)	725,310 円 (725,310 円)	0 円	725,310 円 (725,310 円)	個人・団体ほか
合 計 (うち沼津受け)	6,781,431 円 (1,728,709 円)	57,700 円 (10,200 円)	6,839,131 円 (1,738,909 円)	

県共同募金会の目標額 6,575,000 円に対し、達成率 104.0%

(2) 令和7年度 歳末たすけあい募金助成等の状況

助成金贈呈事業費		件数	助成金額
住民全般	援護世帯	64	724,000円
	被災世帯	0	0円
	緊急援護世帯	8	80,000円
合計		72	804,000円

地域福祉・在宅サービス事業費		件数	助成金額
高齢者	地区社会福祉協議会	13	1,571,329円
	高齢者施設	1	50,000円
	ボランティア団体	1	50,000円
	民生委員児童委員協議会	1	141,000円
	居場所団体	19	880,000円
	小計	35	2,692,329円
障がい児・障がい者	障がい者施設	10	480,000円
	支援学校等	2	75,000円
	当事者団体	2	100,000円
	ボランティア団体	1	50,000円
	小計	15	705,000円
児童・青少年	ボランティア団体	2	100,000円
	居場所団体	10	440,000円
	小計	12	540,000円
その他	助成諸経費		48,255円
	小計		48,255円
合計		62	3,985,584円

令和7年度 歳末たすけあい募金助成額合計 134件 4,789,584円
--------------------------------------

## 第9 在宅福祉サービス事業

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、これまで培ってきた在宅福祉サービスの基盤を強化し、介護保険制度等での各種介護サービス、公的福祉事業（委託事業）等を行政及び関係機関との連携のもとに推進しました。

### 1 介護保険事業

静岡県及び沼津市から事業者の指定を受け、下記事業を実施しました。実施にあたっては、介護保険法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービスの提供に努めました。

#### （1）訪問介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定訪問介護事業所」）

要介護・要支援等高齢者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、食事、排泄等の介護その他生活全般にわたる援助サービス（基準緩和訪問サービスを含む）と自費対応のサービスを提供しました。

また、介護職の人員不足を補うため「そうだ！もう一度介護やってみよう！講座」と題し、ヘルパー資格を有するブランクのある方等を対象に知識や技術の不安を解消し、介護職への復帰に向けての支援を行いました。令和7年度は3月7日に開催しました。

＜利用延べ人数 21,439人＞

#### （2）通所介護事業（事業所名「千本デイサービスセンター」）

要介護・要支援等高齢者へ、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持及び家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、千本デイサービスセンターにおいて通所介護事業を実施しました。また、令和4年度で認知症対応型サービスを統合しましたが、専門スタッフが高度な技術をもって対応し、これまでと変わらない認知症ケアを行っています。

＜利用延べ人数 7,177人＞

#### （3）居宅介護支援事業（事業所名「千本居宅介護支援事業所」）

要介護の認定を受けた方が、住み慣れたご自宅や地域で安心して生活できるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご利用者やご家族の意向に沿って、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護サービス事業所との調整や連携を通して、適正な居宅介護支援を行いました。

また、沼津市や他市区町村から、要介護認定訪問調査業務の委託を受け、介護支援専門員が訪問調査員として訪問調査を行う等、介護保険事業の円滑な運営にも協力しました。

さらに、事業所のサービス向上を目的に、1月28日には、他法人との事例検討会の開催、部署内での事例検討会や勉強会等を継続的に開催しました。 <利用延べ人数 3,048人>

## 2 公的福祉サービス事業（沼津市委託事業）

介護や支援を必要とする高齢者のみならず、広く市民を対象にした介護相談、介護予防、自立支援事業及び介護保険等の対象外となる高齢者、障がいのある人、要援護児童等を対象にした各種福祉事業を沼津市より受託し、公的在宅福祉サービスの整備・推進に努めました。

### （1）地域包括支援センター（事業所名「千本地域包括支援センター」）

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、地域の総合的な相談窓口として設置されており、第一地区・第二地区・西間門の一部・第四地区を担当しています。千本プラザ内にある「千本地域包括支援センター」と吉田町の「第四支所」において、649件の相談を受け、適切な機関やサービスに繋ぐ等の対応をしました。

また、高齢者が自立して生活できるよう、要支援1・2の認定を受けた方、事業対象者と認定された方のケアプランを作成するほか、一般介護予防事業として介護予防教室を年間80回開催し、高齢者延べ2,647人、ボランティア81人が参加しました。

高齢者の権利を守るための周知啓発活動や成年後見制度、消費者被害、虐待への対応も行いました。さらに、地域ケア会議を開催し、小地域での地域課題について検討すると共に、



（令和7年11月27日  
秋のノルディックウォーキングで  
田子の浦港へ）

暮らしやすい地域を守るためのネットワークづくりにも努めています。認知症に対する活動としては、認知症の理解を深める周知啓発を行う「チームオレンジ」を設置、認知症サポーター養成講座を10回開催し、小・中・高校生を含む198名のサポーターが誕生しました。また、認知症カフェも毎月開催し、暮らしやすい地域を作るためのネットワークづくりにも努めました。

<介護保険利用者延べ人数 4,757人>

## 3 障害者居宅介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定居宅介護事業所」）

静岡県から居宅支援事業者の指定を得て、障害者居宅介護事業を実施しました。実施にあたっては、障害者総合支援法の理念に則り、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービス提供に努めました。

障がいにより、在宅での生活に援助が必要な人が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが訪問し、入浴、食事の介助及び必要な移動介助、家事援助のサービスを提供しました。

<利用延べ人数 5,034人>

#### 4 障害者相談支援事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」）

沼津市から特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所の指定を受けた「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」において、障害者総合支援法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質な計画相談支援サービスの提供に努めました。 <利用延べ人数 203人>

#### 5 地域介護予防活動支援事業

地域の実情に応じて、年齢や心身の状況によって分け隔てなく生活でき、高齢者自らが介護予防に資する活動ができるように、介護予防ボランティア養成等や誰もが自由に参加できる「通いの場」の整備を実施しました。

##### （1）生きがい創出事業

高齢者やその家族、地域住民、専門職員等の誰もが自由に参加できる居場所（通いの場）の立ち上げや既存の居場所の運営支援を行いました。

##### ア 新規居場所立ち上げ支援

地域の居場所運営者から、講義と実践事例を学び、新たに立ち上げを希望する方へ支援を行いました。

##### ●新規居場所立ち上げセミナー

開催日時：9月29日（月）14：00～15：00

開催場所：サンウェルぬまづ 4階 多目的ホール

参加者数：37名

##### ●新規居場所立ち上げ（実践事例紹介）

開催日時：9月29日（月）15：00～16：00

開催場所：サンウェルぬまづ 4階 多目的ホール

参加者数：37名



##### （2）介護予防ボランティア養成等事業

シニア世代を対象に、自らの健康づくりや生きがいづくりのための知識を学びながら、地域における介護予防の活動を支える人材を養成する各種講座を行いました。

## ア セカンドライフセミナー

第二の人生で自分のためや他者のために具体的に行動を起こすための最初の一步を踏み出すきっかけづくりを目的とした講座を実施しました。

### ●セカンドライフセミナー（1回開催予定中1回開催）

開催日時：7月4日（金）13：30～15：30

開催場所：プラサヴェルデ3階 301・302 会議室

参加者数：175名



## イ 生活支援介護予防サポーター（くらしつなげ隊）養成講座

地域でとじこもりがちな高齢者と、社会をつなげるお手伝いをするサポーターを養成し、広く介護予防のための社会参加を促進することを目的とした講座を年4回、フォローアップ講座を1回実施しました。

### ●運転・付添ボランティア養成講座

（移動支援の担い手を養成）

開催日時：5月24日（土）9：30～16：30

開催場所：愛鷹地区センター 大会議室、

愛鷹地区内道路

参加者数：26名



### ●災害ボランティア養成講座

（非常時に声をかけあえる日頃からの見守りの担い手を養成）

開催日時：11月27日（木）13：30～15：30

開催場所：サンウェルぬまづ 4階 多目的ホール

参加者数：14名

### ●技術系災害ボランティア養成講座

（持ち前の技術を活かし非常時に助け合い活動を行う担い手を養成）

開催日時：12月6日（土）9：30～12：30

開催場所：サンウェルぬまづ 4階 多目的ホール、1階南側駐車場

参加者数：13名

### ●くらしつなげ隊フォローアップ講座（活動報告会）

活動者同志の体験談、情報交換を実施

開催日時：2月14日（土）13：30～15：00

開催場所：サンウェルぬまづ 2階 OALーム、オンライン（Zoom）同時開催

参加者数：6名

#### ウ ノルディックサポーターフォローアップ講座（1回開催）

地域単位でノルディックウォーキングを普及するサポーターが養成されているので、サポーター自身の健康維持とスキルアップを目的とした講座を実施しました。

##### ●ノルディックサポーターフォローアップ講座

開催日時：10月10日（金）10：00～11：30

開催場所：片浜地区センター

参加者数：5名



## 第10 福祉サービス事業の受託運営

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、施策の充実を図るために、各種サービス事業の受託運営を積極的に図りました。

### 1 サンウェルぬまづ（ぬまづ健康福祉プラザ）受託管理運営事業

市民誰もが健康で、ともに助け合いができるまちづくりを目指すための拠点となる「サンウェルぬまづ」の指定管理者として、①健康・福祉、②ボランティア活動、③障がい者活動交流、④地域福祉活動の各センター機能と、「情報」・「相談」の機能を発揮するための管理運営に努めました。

令和7年度 サンウェルぬまづ会議室等利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	3,962人	29日	10月	4,749人	30日
5月	4,033人	30日	11月	5,092人	29日
6月	4,496人	29日	12月	3,708人	27日
7月	5,365人	30日	1月	3,375人	27日
8月	4,118人	30日	2月	5,829人	27日
9月	5,811人	29日	3月	4,042人	30日
年間利用者数		54,580人	年間開館日数		347日

※ 大会議室、中会議室、小会議室1・2、OAルーム、調理室、健康増進ルーム、可動間仕切り会議室、共用ミーティングブース、録音室1・2、多目的ホール

令和7年度 サンウェルぬまづ3階利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	392人	29日	10月	185人	30日
5月	300人	30日	11月	384人	29日
6月	404人	29日	12月	327人	27日
7月	348人	30日	1月	258人	27日
8月	436人	30日	2月	466人	27日
9月	582人	29日	3月	212人	30日
年間利用者数		4,294人	年間開館日数		347日

※障がい者活動交流室、地域福祉活動室

令和7年度 サンウェルぬまづフリースペース1階・3階利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	721人	29日	10月	1,029人	30日
5月	761人	30日	11月	733人	29日
6月	841人	29日	12月	738人	27日
7月	848人	30日	1月	885人	27日
8月	912人	30日	2月	1199人	27日
9月	825人	29日	3月	1026人	30日
年間利用者数		10,518人	年間開館日数		347日

※ 共用ミーティングコーナー、打合せコーナー

令和7年度 ふれあい交流室利用状況（人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	819	874	891	1,089	1,171	998	940	794	628	767	788	901	10,660
小人	1,006	974	1,000	1,308	1,332	1,126	1,106	843	718	920	960	1,166	12,459
合計	1,825	1,848	1,891	2,397	2,503	2,124	2,046	1,637	1,346	1,687	1,748	2,067	23,119

（内訳）

沼津市	1,428	1,372	1,474	1,826	1,716	1,651	1,582	1,192	984	1,287	1,369	1,588	17,469
三島市	56	85	81	95	80	80	58	60	39	69	81	73	857
長泉町	84	113	106	129	136	111	106	61	64	90	80	92	1,172
裾野市	30	20	11	6	39	16	17	15	10	12	35	9	220
清水町	75	58	66	61	58	81	111	53	38	75	40	110	826
富士市	20	14	13	15	37	18	14	9	13	8	19	23	203
御殿場市	4	12	12	7	11	8	13	2	7	2	4	7	89
その他	128	174	128	258	426	159	145	245	191	144	120	165	2,283

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数	26	33	40	59	107	31	30	41	32	20	25	35	479
シニアコーナー	13	10	9	9	11	9	10	13	7	6	9	9	115

### 令和7年度 展示ギャラリー利用状況

展示名	開催日	展示名	開催日
水彩画作品展示会	4/1～13	水墨画教室作品展	10/1～8
(一社)笑い文字普及協会	4/14～5/14	ハロウィン展示	10/9～10/31
ふれあい交流室 令和6年度活動報告掲示	5/20～6/7	ぬまづの宝 100 選写真パネル展	11/5～27
沼津市退職教職員写真クラブ展	6/9～22	いけばな展示	11/28～30
沼津中央高等学校 工芸デザインコース作品展	6/24～7/4	第5回 [未来のクルマ] 絵画コンクール展示会	12/3～19
ポスターコンクール受賞作品掲示	7/7～25	干支の置物展示	12/26～1/30
こどもアトリエ おえか木トッポ店	8/2～11	令和7年度福祉のまちづくり絵画展	2/4～19
「沼津の戦争と記憶」パネル展	8/19～29	絶賛やるやる期写真展	3/13～20
情報ボランティア活動発表 「沼津お宝カルタ展」	9/4～30		

## (1) 相談事業

### 育児相談

赤ちゃんから高齢者までが集う「ふれあい交流室」において専門員（保育士）が相談にあたりました。（主な相談内容：離乳食・食事、就園、人との関わり、言語、入園について 他）

### 令和7年度 育児相談月別集計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	9	12	11	5	13	11	14	8	5	24	17	27	156

## (2) イベント

### 情報センター事業

#### ア 福祉図書コーナー

障がい、地域福祉、育児、ボランティアに関する書籍を揃え、サンウェルぬまづ情報ボランティアの協力のもと、情報提供に努めました。

#### イ 福祉のまちづくり作品展

- ① 情報ボランティアが、年間を通じて来館者に季節感を味わっていただく事を目的に、作成した四季折々のポストカードを展示しました。

（参照：「令和7年度展示ギャラリー利用状況」）

- ② サンウェルぬまづ館内で活躍している、運営ボランティアの活動を『Welcome サンウェル冬イベント』内で発表することで、互いに交流・情報交換ができる機会を設けるとともに、来館者にボランティア活動の意義を学ぶ機会を提供しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数
サンウェル運営ボランティア4部門活動紹介展	サンウェルぬまづ運営ボランティア	11/29	353人 (協力者含む)

## ウ 福祉啓発事業

### ① 沼津市ボランティア連絡協議会 活動発表会

市内各地で活躍しているボランティアグループや個人ボランティアの普段の取り組みを紹介し、市民のボランティア活動への理解と参加意識を高めることを目的として、『Welcome サンウェル冬イベント』内でボランティア活動の展示を行い、発表の場を企画しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数
沼津市ボランティア連絡協議会活動発表会	沼津市ボランティア連絡協議会	11/29	316人 (協力者含む)

### ② 障がい者を理解するための活動

特別支援学校や支援学級に通う子どもたちの「できること」や「感性」を来館者に知っていただき、身近な存在として感じてもらうことを目的として開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
Welcome サンウェル夏イベント (福祉ふれあい販売会)	エンゼルらんぷ こころみファーム	7/19	90人	購入者数
Welcome サンウェル冬イベント わくわく祭(卓球ブース)	NPO法人スペシャル オリμπックス日本・静岡	11/29	60人	

### ③ 安心、快適な暮らしの実現に関する事業

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
「夏休み企画～親子で 防災リュックについて知ろう」	沼津市 危機管理課 沼津市災害ボランティア コーディネーター協会	8/9	23人	

## エ 情報の集積と提供

### ① 情報コーナーの設置

皆さまの声をサンウェルの事業に生かすためのコーナーやボランティア、地区社協等様々な団体の活動紹介のコーナーを設置し、市民相互間の情報交換の場を提供しました。

## オ ボランティア活動支援事業

### ① 次世代ボランティア育成事業

これからの時代を担う次世代のボランティア体験、ボランティア活動の意義を学ぶた

めの場の提供や、多世代にわたる人達が気軽に楽しく集い、互いに交流し情報交換のできる場を作ることを目的に『Welcome サンウエル冬イベント』内で開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
次世代ボランティア育成事業	市内に在住・通学中の中・高校生	11/29	22人	

#### ② サンウエルぬまづ情報ボランティア養成講座

情報ボランティアの活動の拡充を図ることを目的に会員と応募生が一緒になり館内の掲示物の作成や情報発信のポイント等、サンウエルぬまづをよりPRするための講座を開催し会員拡充に繋げました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
情報ボランティア養成講座	仲野 早苗 (PCインストラクター)	6/9・23	20人	延べ人数

#### ③ サンウエルぬまづ運営ボランティア研修

令和7年度は、ボランティア同士のつながりを深め、日々の連絡や情報共有をスムーズに行えるよう、普段の活動や日常生活で役立つ SNS などのコミュニケーションツールの活用方法を学び、各部門における連絡員の負担軽減を図ることを目的に、「初心者向けの SNS 講座」を開催しました。互いに他部門のボランティア活動への理解を深め、助け合える関係づくりに繋げるため、講座後に交流の機会を設けました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
サンウエル運営ボランティア全体研修	オルティス ゆみこ (SNS マーケター)	2/3	23人	

#### ④ サンウエルぬまづ運営ボランティア

サンウエルぬまづの運営のお手伝いをするボランティアを、活動内容によって「受付案内」「緑化」「情報展示」「託児」の4つのボランティアに分けています。利用者でもある市民が運営の一端を担うボランティアとして活動することで、市民自らのアイディアや希望を常時取り入れながら、市民とともに成長する施設を目指しています。

令和7年度 サンウエルぬまづ運営ボランティア活動状況件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数	活動日数	人数
受付	6	21	9	24	12	31	10	43	11	41	10	45	10	50	18	64	9	37	6	23	16	63	11	26	128	468
情報	4	26	3	19	5	26	5	24	3	18	4	26	5	28	5	26	3	19	4	16	3	11	4	17	48	256
緑化	19	90	17	75	20	67	20	70	23	72	17	67	12	61	10	55	10	40	10	38	8	32	9	35	175	702
託児	2	21	4	33	7	30	5	39	4	25	8	35	8	44	8	33	4	22	3	17	5	20	3	15	61	334
計	31	158	33	151	44	154	40	176	41	156	39	173	35	183	41	178	26	118	23	94	32	126	27	93	412	1,760

## カ 交流活動

子どもからお年寄りまでの居場所、交流の場づくりや、障がいのある子どもたちも一緒になって交流することを目的に開催しました。

### ① Welcome サンウエル

事業名	開催日	参加人数	備考
みんなの手形でこいのぼりのうろこを完成させよう	4/19～5/6 展示：5/7～21	120人	手形とイラストの数でカウント
Welcome サンウエル！ 七夕～願いを込めてみんなで飾ろう～	6/13～7/7	283人	展示された短冊の数
サンウエルぬまづと千本プラザで HAPPY HALLOWEEN	10/25～10/31	213人	子どものみ

### ② Welcome サンウエルイベント

日ごろからサンウエルぬまづの活動にご尽力いただいている運営ボランティア、沼津市ボランティア連絡協議会の方々や、市内の中学生・高校生のボランティアにもご協力いただき、表のとおり開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
Welcome サンウエル夏イベント	Hibiki Chamber Orchestra	7/19	139人	
Welcome サンウエル冬イベント「わくわく祭」		11/29	計 304人	実人数
カルタブース	運営ボランティア 中高生ボランティア		60人	
Xmas オーナメントブース	運営ボランティア 中高生ボランティア		92人	
らくがきせんべいブース	運営ボランティア 中高生ボランティア		45人	
ポッチャブース	沼津市身体障害者福祉会		55人	
輪投げブース	中高生ボランティア		21人	
卓球ブース	NPO 法人スペシャル オリリンピックス日本・静岡		60人	
お菓子釣りブース	運営ボランティア 中高生ボランティア		150人	

大人のための居場所、交流の場をつくることを目的に開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
居場所講座 「みんなで歌おう！ 思い出のあの歌、この歌」	芹澤 卓弥 (静岡県合唱連盟理事)	9/9	118人	

## キ 健康づくり支援

### ① 介護予防・健康づくり支援

サンウェルぬまづにおいて、下記のイベントを開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
リフレッシュヨガ (託児付き講座)	菊地 志保 (日本すこやかヨガ協会認定 ヨガインストラクター)	7/3・24	46人	延べ人数
食と運動で健康ライフ講座 (健康講演と運動を 組み合わせた講座)	沼津市健康づくり課職員 是永 幸恵 (健康運動指導士) 黒澤 優希 (フィットネスインストラクター)	6/6・13	62人	延べ人数

### ② メンタルヘルス事業

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
心が整うお片付け講座	関 美恵子 (整理収納アドバイザー)	12/6	30人	

## ク 生きがいづくり支援

心身の健康を目的として開講しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
アロマセラピー入門講座	金子 以奈	9/27	30人	

## ケ ふれあい交流室

ふれあい交流室において、妊娠期、親子、小学生、世代交流など様々な方を対象としたイベントを開催しました。

### 令和7年度 ふれあい交流室イベント

イベント内容	対象	開催日	参加人数	ボランティア
育児講座 「おしゃべりサロン①」	親子、 関心のある方	7/11	8人	—
育児講座 「パパとあそぼう」	父親と未就園児	7/21	32人	—
おまつり広場	親子	8/16	119人	37人
育児講座 「おしゃべりサロン②」	親子、 関心のある方	9/25	10人	—
育児講座 「親子で楽しむムーブメント遊びと 子育てトークの集い」	未就園児親子	10/4	20人	—
ふれあいコンサート (静岡県立沼津工業高等学校吹奏楽部・OB)	どなたでも	11/24	106人	15人

イベント内容	対象	開催日	参加人数	ボランティア
ふれあいクリスマス	親子	12/13	107人	10人
育児講座 「おしゃべりサロン③」	親子、 関心のある方	1/30	7人	—
育児講座 「ブレバパママほっこり交流会」	妊婦とその家族 1歳未満の親子	3/7	11人	—
育児講座 「おしゃべりサロン①」	親子、 関心のある方	7/11	8人	—

定期イベント	開催日時	回数	備考
アッスルタイム	水曜日 (月2回)	24回	サッカーJ3アスルクラロ沼津の選手による体操 や運動遊びをとおした親子の交流
ふれあいタイム	第2・第4 火曜日	24回	職員によるふれあい遊びや製作など
赤ちゃんDAY	—	5回	1歳未満の親子を対象としたベビーマッサージ、 バランスボール、ベビーヨガなど
色イロリトミック	—	3回	親子で音楽を総合的に味わう
Little Cocoons	—	3回	英語を通して遊びながら異文化に触れる
ママにおすすめエクササイズ	—	3回	親子で一緒に行うストレッチなど体のケア
水遊び(夏季限定)	8月	0回	屋内庭園での水遊び ※猛暑により中止
絵本の読み聞かせ	—	43回	ボランティア団体いろいろぼうしによる 絵本の読み聞かせ

## 2 千本プラザ受託管理運営事業

高齢者をはじめとする市民誰もが、世代の垣根を越えて集い、交流できる世代交流活動の拠点となる、高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」の指定管理者として、季節に応じたイベントや、年間を通じた各種講座・教室等を企画実施し、市民に親しまれる「千本プラザ」の管理運営に努めました。（「千本プラザ」は沼津市世代交流センター及び沼津市老人福祉センターで構成されています。）

令和7年度 千本プラザ利用者状況

月	総入場者数	老人福祉センター利用者数	世代交流センター利用者数
4月	15,166人	618人	3,180人
5月	16,350人	757人	4,241人
6月	17,125人	628人	4,913人
7月	14,687人	824人	3,117人
8月	16,104人	665人	3,789人
9月	16,376人	790人	4,043人
10月	19,378人	863人	5,466人
11月	19,283人	666人	4,408人
12月	15,968人	682人	3,169人
1月	15,130人	726人	3,434人
2月	16,052人	697人	4,980人
3月	18,029人	671人	4,908人
合計	199,648人	8,587人	49,648人

### (1) -1 主催事業 <季節のイベント>

#### ア 千本プラザフェスティバル

事業名	協力者(または団体)	開催日	参加者数
ふれあい動物園がやってくる!	カントリーファームスタッフ 高校生ボランティア 28人	4/27	832人
あそべるコンサート&こころ潤うお話	ケチャップマヨネーズ	5/4	101人
美温活リンパストレッチ	是永 幸恵	5/24・31	延べ人数 55人
筋トレ&ダンスエアロ	田中 沙季	5/24・31	延べ人数 61人
色で元気に! シニア世代のカラーコーディネート講座	石川 礼子 伏見 さき子、高橋 広美	5/25	17人

## イ 夏のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
ふれあい水族館&こども縁日	伊豆三津シーパラダイス	6/21	800人
親子陶芸教室	井原 正利	7/12	40人
映画特別上映会「あん」	職員対応	7/20	231人
こどもアナウンサー教室	㈱静岡放送	7/26	22人
多目的ホール開放	職員対応	7/19～8/24	497人

## ウ 秋のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
はじめての太極拳	野田 康太	10/4	24人
のぼそう！脳とカラダの健康寿命 ～さまざまなトレーニングで脳を活性化～	眞野 知美	10/4	25人
季節の植物を使ったデザイン	岩崎 有加	10/5	20人
特別映画上映会「ティファニーで朝食を」	職員対応	10/8	150人
沼津東高校吹奏楽部 ファミリーコンサート	静岡県立沼津東高等学校 吹奏楽部	10/26	151人
はじめての切り絵	あじさいの会、切り絵趣味の会、 沼津きり絵の会 各会の代表と会員	11/9	14人

## エ 冬のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
お正月飾り	川村 早苗	11/30	20人
坐禅とヨガ。	大嶽 雄泰、窪田 真帆	12/6	29人
ジャズコンサート	富士通ジャズオールスターズ	12/7	198人
エアロ night★	蛭沢 亜希子	12/13	延べ人数 48人
書初め教室	西川 万里 協力：趣味の教室「書道」OB	12/25・27	各16人

## オ 春のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
やさしいピラティス	キムラ アユ子	2/1・22	延べ人数 50人
カラダを整える運動教室	松浦 里美	2/4・11	延べ人数 50人
自分の足で歩き続ける足づくり	小林 千裕	2/27	20人
足のお悩み相談コーナー	小林 千裕	2/27	9人
手づくり味噌教室	巽 萌	2/27	20人
沼津西高校吹奏楽部 ミニコンサート	沼津西高校吹奏楽部	3/1	110人

## (1) - 2 主催事業 <居場所づくり>

### カ 赤ちゃんDAY

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
赤ちゃんご機嫌♪親子体操 聖隷沼津病院小児科医による講話	三船 美也子 古澤 有花子（聖隷沼津病院小児科医）	5/22	17組 34人
ベビーリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話	峯松 由貴、村松 日登美 古澤 有花子（聖隷沼津病院小児科医）	6/26	23組 46人
リトミック&コンサート 聖隷沼津病院小児科医による講話	中村 友紀、柏木 恵美子 （フレンドミュージック音楽事務所） 古澤 有花子（聖隷沼津病院小児科医）	7/24	23組 47人
ベビー&ママヨガ 聖隷沼津病院小児科医による講話	保科 恵 渥美 亮祐（聖隷沼津病院小児科医）	8/28	21組 43人
ハワイアンリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話	二宮 晶子 持永 和輝（聖隷沼津病院小児科医）	9/25	20組 40人
バランスボールでママシェイプ 聖隷沼津病院小児科医による講話	三船 美也子 渥美 亮祐（聖隷沼津病院小児科医）	10/23	24組 48人
ベビーリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話	峯松 由貴、村松 日登美 渥美 亮祐（聖隷沼津病院小児科医）	11/27	20組 41人
ベビー&ママヨガ 聖隷沼津病院小児科医による講話	保科 恵 持永 和輝（聖隷沼津病院小児科医）	12/25	18組 37人
リトミック&コンサート 聖隷沼津病院小児科医による講話	中村 友紀、西島 彩、日吉 彩稀 （フレンドミュージック音楽事務所） 渥美 亮祐（聖隷沼津病院小児科医）	1/22	19組 39人
ハワイアンリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話	二宮 晶子 幸田 昌樹（聖隷沼津病院小児科医）	2/26	25組 51人

### キ 0歳からのコンサート

事業名	協力者	開催日	参加者数
0歳からのコンサート	はら♪音のマルシェ	11/8	185人

## (2) 教室開催事業

### ア「趣味の教室」

教室・講座名	参加者数	回数	開催日
趣味の教室			
デジタルカメラ	8人	24回	第1・第3水曜日
ヨガ	20人	24回	第1・第3木曜日
つるし飾り	10人	21回	第1・第3木曜日
茶道	9人	23回	第1・第3木曜日
書道	11人	24回	第1・第3金曜日
コンディショニング	19人	24回	第1・第3金曜日
紙バンド	14人	23回	第2・第4月曜日
フラワーデザイン	9人	23回	第2・第4火曜日
詩吟	15人	24回	第1・第3火曜日
元気アップ教室	20人	24回	第1・第3水曜日
七宝焼	10人	24回	第1・第3金曜日
ピアノ（キーボード）	18人	22回	土曜日（月2回不定期）
ウクレレ	24人	23回	第2・第4火曜日
うた	35人	24回	第2・第4火曜日
合計	222人	327回	

### イ「趣味の教室」展示会及び発表会

事業名	開催日	参加者数
展示会		
書道・七宝焼・つるし飾り・紙バンド デジタルカメラ・フラワーデザイン	2/27～3/1	1,454人
発表会		
ピアノ	2/28	72人
うた	2/28	45人
詩吟	2/28	14人
ウクレレ	2/28	44人
茶道（野点）	3/1	93人
合計		1,722人

### ウ 陶芸教室

教室・講座名	協力者（または団体）	回数	開催日	参加者数
陶芸教室 第Ⅰ期 「人気の焼き物」	井原 正利	3回	6/7～28	30人
陶芸教室 第Ⅱ期 「千プラ窯の個性派をつくろう」	井原 正利	5回	12/13～1/24	49人

### (3) 交流事業

#### ア 七夕交流

協力者（または団体）	開催日	参加者数
きぼう青年学級とボランティア	6/15	30人
光長寺幼稚園とはまっこ有志一同（旧 むまっつ）	6/16	73人
霊山保育園と沼津市老人クラブ連合会 下香貫支部	6/18	46人
双葉幼稚園と沼津市老人クラブ連合会 役員・女性部	6/23	26人
ルンビニ幼稚園と沼津市老人クラブ連合会 大平支部・開北支部	6/24	33人
岳東保育園と沼津市老人クラブ連合会 静浦支部・愛鷹支部	6/25	36人
聖マリア幼稚園と沼津市老人クラブ連合会 我入道支部・門池支部	6/30	56人
恵愛保育園と沼津市老人クラブ連合会 第三中（だいさんなか）支部	7/1	33人
合 計		333人

#### イ 千本プラザ30周年事業 思い出で千本プラザを彩ろう

千本プラザの30周年を祝うメッセージや思い出エピソード、イラストを募集し、それらを合わせた1つの大きな作品に仕上げました。

事業名	協力者	開催日	参加者数
思い出で千本プラザを彩ろう	サノユカシ、来館者	4/14～10/31	468人

#### ウ 千プラ文化祭！

事業名	開催日	参加者数
展示の部		
沼津市立第二中学校・あじさいの会・クラフトバンドOB・ 幸筆フレンズ・手芸OB・千墨会・千本フラワーズ・ デジカメOB・虹の会	10/1	112人
発表の部		
沼津市立第二中学校	10/1	177人
潮騒ファミリー		158人
千本ハーモニカクラブ		
オカリーナ風花		
ウクレレOB		
合 計		447人

### (4) ミニギャラリー展示

どなたでも無料で利用できる展示スペースとして貸し出しました。

利用件数	内 容 (件)			
24	写真展	7	絵画展	4
日数	版画展	1	陶芸展	1
164	書道展	1	その他	10

展示名	主催者	開催日
志田幹雄展	個人	5/1～10
第13回写真展	お気楽写真会の仲間達	5/23～30
伝統ある日本の名字ベスト1000	個人	6/22～29
四季の光彩「新緑展」	カメラクラブ光陽会	7/6～13
竹本あゆみ 笑い文字展「あなたへ」	個人	7/21～26
令和7年静岡県さくら写真コンクール入賞作品 作品展	静岡県さくらの会	9/2～10
「敬老の日」絵手紙コンクール作品展	長寿福祉課	9/12～22
千本プラザ七宝焼OB会 作品展	七宝焼 虹の会	9/29～10/5
千本木版画教室 展示会	千本木版画教室	10/8～12
切り絵の展示	切り絵趣味の会	10/15～19
第6回沼津きりえの会 作品展	沼津きりえの会	10/20～26
ステンドグラスOB会 作品展	ステンドグラスOB会	10/31～11/2
第35回沼津市役所燦燦OB会 趣味の作品展	沼津市役所燦燦OB会	11/6～9
第8回「あじさいの会」切り絵作品展	あじさいの会	11/19～22
陶晃会 作品展	陶晃会	11/23～30
伊豆の武将狩野一族と御用絵師狩野派	郷土史研究会（個人）	12/3～9
第14回写真展	お気楽写真会の仲間達	12/12～19
大橋友美絵画展	個人	12/21～27
心のままアート展2025	NPO 法人こころのまま	1/26～2/4
千本フォトクラブ写真展	千本フォトクラブ	2/6～13
ぬまづの宝100選 写真パネル展	沼津市役所 広報課	2/16～20
第二十一回圭会書展	圭会	3/3～8
令和フォトクラブ写真展	令和フォトクラブ	3/9～15
切り絵さくらの会 作品展	切り絵さくらの会	3/20～22

### (5) なつかしの映画上映会

高齢者がなつかしの映画を見ることにより、当時の出来事を思い出し、懐かしむ機会となりました。また高齢者等の外出機会として、楽しいひと時を過ごしてもらうことができました。

上映映画名	「愛と死をみつめて」「夜霧よ今夜もありがとう」「銀座の恋の物語」他 27 作品
上映回数	30 回
入場者数	631 人

## 第11 法人運営に関する各種会議等の開催

### (1) 役員会等の開催状況

年月日	会議等	主な内容
令和7年6月3日	第264回理事会 (理事10人、監事2人)	令和6年度事業報告、計算関係書類・財産目録の認定、規程の一部改正、補正予算(第1回)、理事及び監事選任候補者の提案、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催、評議員会の招集
6月12日	第16回評議員選任・解任委員会 (委員4人)	評議員の選任
6月19日	第164回評議員会 (評議員9人、監事2人)	令和6年度事業報告、計算関係書類・財産目録の承認、補正予算(第1回)、理事及び監事の選任
6月19日	第265回理事会 (理事11人、監事2人)	会長の選定、副会長の選定、常務理事の選定、顧問の委嘱、評議員・選任解任委員の選任
11月19日	第266回理事会 (理事11人、監事2人)	補正予算(第2回)、規程の一部改正、歳末たすけあい募金助成計画、評議員会の招集
11月27日	第165回評議員会 (評議員10人)	補正予算(第2回)
令和8年3月17日	第267回理事会 (理事9人、監事2人)	補正予算(第3回)、くらしの資金貸付事業貸付金の債権放棄、規程の一部改正及び廃止、令和8年度事業計画及び資金収支予算案の承認、令和8年度分渡辺福祉基金の取り崩し、役員賠償責任保険の契約、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催、評議員会の招集
3月19日	第17回評議員選任・解任委員会 (委員4人)	評議員の選任
3月26日	第166回評議員会 (評議員9人)	補正予算(第3回)、くらしの資金貸付事業貸付金の債権放棄、役員報酬・費用弁償規程の一部改正、令和8年度事業計画及び資金収支予算案の承認

### (2) 監事監査

年月日	会議等	主な内容
令和7年5月27日	決算監査 (監事2人)	令和6年度の業務監査・会計監査

### (3) 苦情解決実施規程に基づく関係者連絡会

社会福祉法第82条の規定により、福祉サービス利用者等からの苦情解決を適切に実施していくため、「沼津市社会福祉協議会苦情解決実施規程」を定めております。

令和7年9月29日(月)に苦情解決実施規程に基づく関係者連絡会議を開催しました。苦情件数は以下の表のとおりです。令和6年度の1年間で寄せられた苦情について、各事業所より内容とその対応について第三者委員から助言をいただき、今後のサービスの向上に努めてまいります。

#### 令和6年度 社会福祉法人沼津市社会福祉協議会 苦情件数一覧

拠点区分	課・センター等	苦情件数	解決済	未解決
本部	総務企画課	0	0	0
	地域福祉課 地域福祉係	0	0	0
	地域福祉課 生活支援係	0	0	0
	成年後見支援センター	0	0	0
介護福祉	介護支援課 介護福祉係	0	0	0
	介護支援課 千本地域包括支援センター	0	0	0
	介護支援課 千本デイサービスセンター	0	0	0
	介護支援課 千本居宅介護支援事業所	0	0	0
	介護支援課 指定訪問介護事業所	0	0	0
	介護支援課 障がい者相談支援事業所	0	0	0
施設管理	施設管理課 サンウェルぬまづ	2	2	0
	施設管理課 ふれあい交流室	0	0	0
	施設管理課 千本プラザ	1	1	0
	合 計	3	3	0

#### (4) その他会議・研修等

##### ア 職員の研修

外部講師を招き、安全衛生、コンプライアンスに関する研修を行いました。

開催日	内容	講師等	参加人数
令和7年12月16日	リスク管理（感染症対策）研修	鈴木 美奈 氏 （東都大学 沼津キャンパス 基礎看護学教授／医学博士）	68人
令和8年1月16日	ハラスメントに関する職員研修 「カスタマーハラスメントについて」	栗屋 伶 氏 （社会保険労務士）	70人
令和8年2月18日	身体拘束等適正化・虐待防止研修 「実際の対応について、 そして安心して対応できるために」	三嶽 順也 氏 （社会福祉士）	48人

##### イ 委員会等

各種委員会を開催しました。

開催日	名 称	出席人数
令和7年5月22日	感染症対策委員会（第1回）	7名
令和7年7月31日	第6次沼津市地域福祉活動計画策定委員会（第2回）	21名
令和7年10月29日	第6次沼津市地域福祉活動計画策定委員会（第3回）	19名
令和7年11月20日	感染症対策委員会（第2回）	6名
令和7年12月10日	財政基盤強化検討委員会	8名
令和7年12月18日	虐待防止検討委員会	6名
	身体拘束等適正化委員会	
令和8年1月26日	第6次沼津市地域福祉活動計画策定委員会（第4回）	20名
令和8年3月17日	沼津市地域福祉活動計画推進委員会	9名

# 令和8年度事業計画

## 事業計画策定にあたって

近年の物価高騰や少子高齢化が進行する中、地域社会における福祉ニーズは多様化・複雑化しており、特に団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」により、高齢者福祉の充実や支援体制の強化が求められています。

また、少子化に伴い、子育て世帯への支援や地域全体で子供をはぐくむ環境づくりも重要な課題となっています。

このような中、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、住民主体の理念に基づき、住民や地域の関係者との協働により、「共に生きる豊かな地域社会」を創造することが本会の使命であります。

令和8年度は「第6次地域福祉活動計画」のスタートの年として、基本目標のもと、3つの重点活動を中心に事業展開を図ってまいります。

### 基本目標「ともしつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」

#### 第1 重点活動

##### 1 人と地域をつなげる 「福祉の地域づくり」

地域住民で構成し住民同士が助け合う場である地区社会福祉協議会と連携し、小地域ネットワークづくり、見守りネットワークの組織化、地域版ちよいてつサービス（住民参加型在宅福祉サービス）の立上げと普及等の活動を支援してまいります。

また、住民が主体となり、自らが地域課題を見つけて解決に向けた活動を支援するため、地区ごとに生活支援コーディネーターを配置し、地域のあらゆる関係機関・団体、企業・事業所等と連携をとり、地域の皆さんと共に住みやすい福祉の地域づくりを推進してまいります。

##### 2 人とサービス・環境をつなげる 「福祉サービスの強化」

市民からのあらゆる生活に関する問題に対し、適切な制度やサービスに関する情報提供を行い、解決に導く相談援助活動を推進してまいります。

また、すべての住民が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう、成年後見制度の利用を促進するための中核機関である「沼津市成年後見支援センター」の運営を始めとする権利擁護事業を推進してまいります。

さらに、昨今の異常気象等により毎年各地で頻繁に発生している災害等に対して、関係機関等との連携を強化し、災害ボランティアセンター運営等災害時における被災住民への支援活動の整備を推進してまいります。

### 3 人と福祉をつなげる 「福祉人材の発掘・育成」

児童や地域住民に対し、福祉について興味を持ち、身近に感じ、我が事としてとらえて活動につながるよう福祉体験など学ぶ機会を提供するとともに、企業の社会貢献活動を促進するため関係機関と連携し、開催講座や福祉に関する情報発信、広報啓発を推進してまいります。

また、時代に合わせたボランティアの発掘・育成を目的に各種ボランティア養成講座を実施し、ボランティア活動の活性化を図ります。

## 第2 一般事業計画

### ◇地域福祉活動の推進

- (1) 地区社協連絡協議会への支援と連携強化
- (2) 生活支援体制整備事業の推進
- (3) 児童・生徒・企業等に対する福祉教育
- (4) 広報PR活動の強化
- (5) 小地域ネットワーク活動の推進
- (6) 当事者の組織化と自立支援
- (7) 福祉施設連絡協議会への支援と連携強化
- (8) チャリティーバザーの開催
- (9) 災害時支援対応及び災害見舞金贈呈事業の実施
- (10) 無縁仏慰霊法要の実施
- (11) 車いす等福祉用具・福祉教育機器の貸し出し

### ◇ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアの養成と各種講座の開催
- (2) ボランティア活動団体への助成
- (3) ボランティア連絡協議会への支援

### ◇福祉総合相談事業の推進

- (1) 結婚相談の実施
- (2) 健康・介護相談の実施
- (3) 福祉生活相談の実施
- (4) 相談員研修の充実

◇権利擁護事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の実施
- (2) 市民後見推進事業の実施
- (3) 法人後見の受任
- (4) 中核機関の運営

◇共同募金運動の推進

- (1) 赤い羽根共同募金運動の推進
- (2) 歳末たすけあい運動の推進

◇重層的支援体制整備事業の推進

- (1) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施
- (2) 参加支援事業の実施
- (3) 地域づくり推進事業の推進

◇沼津市再犯防止計画への参画

- (1) 沼津地区保護司会との連携強化
- (2) 沼津地区更生保護サポートセンターの活動支援

◇低所得世帯の福祉対策

- (1) 緊急援護の実施
- (2) 生活福祉資金等貸付事業の実施
- (3) 高額療養費支払資金貸付事業の実施
- (4) 生活困窮者への支援

◇児童福祉対策

- (1) 障がい児居宅介護事業の実施
- (2) こども会等児童・青少年団体への援助
- (3) 子どもの居場所づくり事業の実施
- (4) サンウェルふれあい交流室の運営・子育て支援

◇高齢者福祉対策

- (1) 老人居宅介護事業の実施
- (2) 老人デイサービス事業の実施
- (3) 地域包括支援センターの受託運営
- (4) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (5) 在宅介護者への支援
- (6) 市内の高齢者居場所づくり支援
- (7) 移動支援サービスの調査研究及び実施
- (8) シニア世代を中心とした介護予防等生きがいボランティアの育成

◇障がい者福祉対策

- (1) 障がい者福祉サービス・計画作成事業の実施
- (2) 声の「社協だより」の発行
- (3) 身体障がい者団体等の事業の援助・協力
- (4) 耳の日記念行事の協力

◇公益事業

- (1) 高齢者等福祉世代交流活動施設（千本プラザ）の管理運営
- (2) ぬまづ健康福祉プラザ（サンウェルぬまづ）の管理運営

◇収益事業

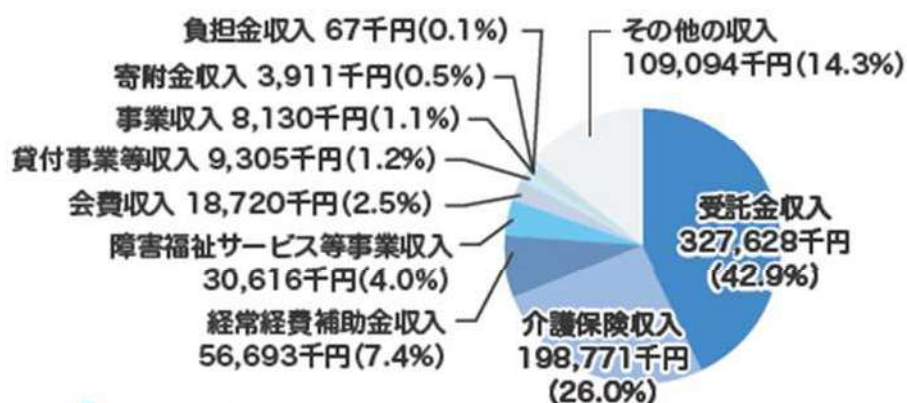
- (1) 不動産貸付事業の実施
- (2) 介護保険外サービス事業の実施

### 第3 令和8年度予算の概要

社会福祉・公益・収益事業合算

総額 7億6,293万5千円

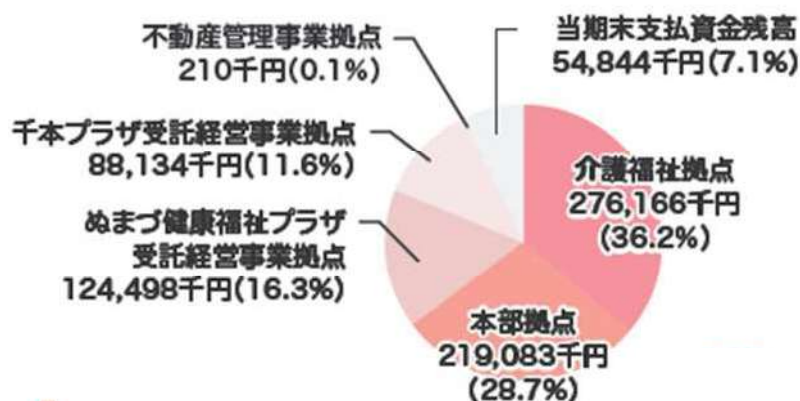
#### 収入



#### 収入内訳

合計 **762,935**千円

#### 支出



#### 支出内訳

合計 **762,935**千円

## 第4 令和8年度沼津市社会福祉協議会年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>●役員会</b>						
		監事監査	理事会、評議員会			
<b>●地域福祉推進事業</b>						
・地区社協活動育成支援		地区社協広報活動（通年）				ささえあい講演会
		会長企画委員長会議				
・生活支援体制整備事業	セカンドライフ講座		生活支援コーディネート活動（通年）			
						居場所情報交換会
・子どもの居場所づくり コーディネート事業		相談・立ち上げ支援（通年）		セミナー開催		
		居場所の連絡会				
・重層的支援体制整備事業準備		継続的アウトリーチ支援・参加支援（通年）				
		連携推進会議（毎月）				
<b>●一般福祉対策事業</b>						
・次世代ボランティア育成事業		福祉教育・出前講座（通年）				
				小学生福祉体験講座	中高生ふれあい体験	
・社協だよりの発行（年4回）		「5月号」発行			「8月号」発行	
・チャリティーバザー ・「キモチと。」プロジェクト		「キモチと。」プロジェクト（通年）				
<b>●福祉総合相談事業</b>						
・福祉生活相談事業		平日10時～15時（通年）				
・結婚相談事業		結婚相談登録会	第1・4水曜、第2日曜（通年）			
・健康・介護相談事業		第1・3水曜、午前のみ（通年）				
・相談所運営委員会		運営委員会			全体研修	
<b>●福祉資金貸付事業</b>						
・高額療養費支払資金貸付		貸付相談（通年）				
・生活福祉資金貸付		貸付・償還相談（通年）				
<b>●権利擁護事業</b>						
・日常生活自立支援事業		個別支援（通年）				
・市民後見推進事業					啓発講演会 フォローアップ研修	市民後見人養成講座
・法人後見推進事業		受任	個別支援（通年）			
・中核機関実施事業		ケース検討会議 推進委員会		ケース検討会議		ケース検討会議 推進委員会
<b>●ボランティアセンター事業</b>						
・ちよいてつサービス事業		地区版ちよいてつ立ち上げ支援（通年）				
		ちよいてつ養成講座（随時）				
・ボランティアセンター 運営事業	地域活動ニュース発行 「べんぎん4/15号」		地域活動ニュース発行 「べんぎん6/15号」	運営委員会	地域活動ニュース発行 「べんぎん8/15号」	助成金交付
・ボランティア養成講座		災害技術系ボランティ ア養成講座	災害ボランティアコー ディネーター養成講座	企業講座		やさしい精神保健福祉 ボランティア養成講座
<b>●共同募金運動推進事業</b>						
・共同募金配分金事業	監査		共同募金運営委員会		共同募金運営委員会	
・赤い羽根共同募金運動					各団体への協力依頼	
・歳末たすけあい運動						

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>●役員会</b>						
		理事会 評議員会				理事会 評議員会
<b>●地域福祉推進事業</b>						
・地区社協活動育成支援		先進地区視察			地域福祉ワークショップ	
・生活支援体制整備事業					第1層協議体	
・子どもの居場所づくり コーディネート事業		居場所の連絡会		セミナー開催		
・重層的支援体制整備事業準備				ケース対応 (通年) 運携推進会議 (毎月)		
<b>●一般福祉対策事業</b>						
・次世代ボランティア育成事業	福祉新聞発行					
・社協だよりの発行 (年4回)		「11月号」発行		「1月号」発行		
・チャリティーバザー ・「キモチと。」プロジェクト	チャリティーバザー					
<b>●福祉総合相談事業</b>						
・福祉生活相談事業				平日10時～15時 (通年)		
・結婚相談事業	結婚相談登録会			第1・4水曜、第2日曜 (通年)		
・健康・介護相談事業				第1・3水曜、午前のみ (通年)		
・相談所運営委員会			相談機関連絡会議			
<b>●福祉資金貸付事業</b>						
・高額療養費支払資金貸付				貸付相談 (通年)		
・生活福祉資金貸付				貸付・償還相談 (通年)		
<b>●権利擁護事業</b>						
・日常生活自立支援事業				個別支援 (通年)		
・市民後見推進事業			市民後見人養成講座		フォローアップ研修	
・法人後見推進事業				個別支援 (通年)		
・中核機関実施事業		ケース検討会議	講演会 推進委員会	ケース検討会議	審査委員会 推進協議会 推進委員会	受任 ケース検討会議
<b>●ボランティアセンター事業</b>						
・ちよいてつサービス事業	フォローアップ講座			地区版ちよいてつ立ち上げ支援 (通年)		
・ボランティアセンター 運営事業	地域活動ニュース発行 「べんぎん10/15号」		地域活動ニュース発行 「べんぎん12/15号」	運営委員会	地域活動ニュース発行 「べんぎん2/15号」	助成金交付
・ボランティア養成講座			傾聴ボランティア 養成講座			
<b>●共同募金運動推進事業</b>						
・共同募金配分金事業						共同募金運営委員会
・赤い羽根共同募金運動		赤い羽根共同募金運動 (10月～12月)			各団体への協力依頼	
・歳末たすけあい運動			歳末たすけあい運動			

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>●在宅サービス事業</b>						
・訪問介護事業 指定訪問介護事業所		訪問介護計画作成、モニタリング、訪問支援、請求業務（通年）				
・通所介護事業 千本デイサービスセンター	桜見学		防災訓練（火災） 交流事業		サマーコンサート	
・居宅介護支援事業 千本居宅介護支援事業所		基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、請求業務（通年）				
・地域包括支援センター 千本地域包括支援センター	地域ケア会議、居場所支援、基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、介護保険料集計（通年）					
	介護予防教室（毎週水曜、第1・3金曜）、認知症カフェ（毎月第3木曜、第4金曜）					
		認知症サポーター 養成講座 包括だより発行 「はつらつ春号」 ノルディックウォーキング 簡易ケアプラン説明会 フレイルチェック		権利擁護研修会 小学生認知症サポーター 養成講座	多職種向け全方位研修会 認知症サポーター 養成講座 中学生福祉体験	
・障害者居宅介護事業 指定居宅介護事業所		訪問介護計画立案、モニタリング、訪問支援、同行援護、請求業務（通年）				
・障がい者相談支援事業 障がい者相談支援事業所	業務基盤改善検討会	基本相談・特定相談、障がい児相談、請求業務（通年）				
<b>●地域介護予防活動支援事業</b>						
・生きがい創出事業		居場所立ち上げ・運営支援（通年）				
・介護予防ボランティア養成講座						
セカンドライフセミナー	講座（1回目）					
生活支援介護予防サポーター 養成講座		講座（1回目）	講座（2回目）			
<b>●福祉サービス事業の受託経営</b>						
・サンウェルぬまづ受託経営事業					サンウェルぬまづ 運営委員会	
(1)相談事業						
育児相談		月～土曜（通年）				
(2)イベント						
情報センター事業		障がい・地域福祉・育児等の書籍の貸出（通年）				
ボランティア活動支援事業		運営ボランティアの育成・支援（通年）				
交流活動						
居場所づくり事業			七夕イベント			
健康づくり支援事業						
(3)ふれあい交流室		アッスルタイム（通年）				
ミニイベント						
育児講座				おしゃべりサロン （1回目）		パパとあそぼう （1回目）
季節の催し					おまつり広場	
・千本プラザ受託経営事業						防災訓練
(1)主催事業						
イベント		運動教室（前期） （5月～8月）		親子陶芸教室	健康マージャン教室	
		多目的ホール開放（夏）				
教室開催事業		趣味の教室（通年）				
	開講式					
(2)その他						
その他		ミニギャラリー展示				

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>●在宅サービス事業</b>						
・訪問介護事業 指定訪問介護事業所		訪問介護計画作成、モニタリング、訪問支援、請求業務（通年）				
・通所介護事業 千本デイサービスセンター	紅葉見学		Xmasコンサート	初詣		
・居宅介護支援事業 千本居宅介護支援事業所		基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、請求業務（通年）				
・地域包括支援センター 千本地域包括支援センター	地域ケア会議、居場所支援、基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、介護保険料集計（通年）					
	介護予防教室（毎週水曜、第1・3金曜）、認知症カフェ（毎月第3木曜、第4金曜）					
	権利擁護研修会 フレイルチェック	包括だより発行 「はつらつ秋号」 ノルディックウォーキング フレイルチェック	多職種事例検討会 高校生認知症サポーター養成講座	ヒヤリング		
・障害者居宅介護事業 指定居宅介護事業所		訪問介護計画立案、モニタリング、訪問支援、同行援護、請求業務（通年）				
・障がい者相談支援事業 障がい者相談支援事業所		基本相談・特定相談、障がい児相談、請求業務（通年）				
<b>●地域介護予防活動支援事業</b>						
・生きがい創出事業		居場所立ち上げ・運営支援（通年）				
・介護予防ボランティア養成講座						
セカンドライフセミナー						
生活支援介護予防サポーター 養成講座			講座（3回目）		フォローアップ講座	
<b>●福祉サービス事業の受託経営</b>						
・サンウェルぬまづ受託経営事業	防災訓練				防災訓練	
(1)相談事業						
育児相談		月～土曜（通年）				
(2)イベント						
情報センター事業		障がい・地域福祉・育児等の書籍の貸出（通年）				
			Xmas ディスプレイ	千支の飾り作品展		
		運営ボランティアの育成・支援（通年）				
ボランティア活動支援事業	運営ボラ「活動紹介展」 沼津市ボラ連 「活動発表会」				運営ボランティア全体 研修	
交流活動	Welcome サンウェル イベント			ふれあいクリスマス		
居場所づくり事業		千支の押絵講座				
健康づくり支援事業		運動講座・メンタスヘルス				
(3)ふれあい交流室						
		アッスルタイム（通年）				
ミニイベント	赤ちゃんDAY Little Coccons			赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY 色イロリミック ママにおすすめ エクササイズ	
育児講座	おしゃべりサロン （2回目） マタニティ講座				おしゃべりサロン （3回目） 防災ワークショップ	パパとあそぼう （2回目）
季節の催し		ふれあいコンサート	ふれあいクリスマス			
・千本プラザ受託経営事業						防災訓練
(1)主催事業						
イベント	千プラ文化祭	切り絵教室	書き初め教室	陶芸教室		
	運動教室（後期） （10月～1月）		多目的ホール開放（冬）			
教室開催事業		趣味の教室（通年）				
						展示会・発表会
(2)その他						
その他		ミニギャラリー展示				

## 社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会役員等名簿

### 第1 理事・監事

令和8年6月18日現在

役 職 名	氏 名	関 係 公 職
会 長	剛 谷 明 正	学 識 経 験 者
副 会 長	加 藤 和 幸	沼津市民生委員児童委員協議会会長
〃	土 屋 新 一	沼津市自治会連合会会長
常 務 理 事	中 島 康 司	学 識 経 験 者
理 事	池ノ谷 浩 之	沼津地区労働者福祉協議会会長
〃	石 川 三 義	学 識 経 験 者
〃	石 橋 裕 一	沼津市市民福祉部長
〃	尾 藤 正 弘	沼津市手をつなぐ育成会副会長
〃	福 田 和 男	沼津市地区社会福祉協議会連絡協議会会長
〃	三 井 長 次	沼津地区保護司会会長
〃	山 本 勲	沼津市ボランティア連絡協議会会長
〃	渡 邊 和 子	沼津市赤十字奉仕団委員長
監 事	真 田 剛	東海税理士会沼津支部副支部長
〃	鈴 木 敬 人	学 識 経 験 者

## 第2 評 議 員

令和8年6月18日現在

氏 名	関 係 公 職
井 口 智 史	一 般 社 団 法 人 沼 津 青 年 会 議 所 理 事 長
石 原 厚	沼 津 市 商 工 会 事 務 局 長
井 原 英 雄	沼 津 商 工 会 議 所 事 務 局 長
遠 藤 宗 男	一 般 社 団 法 人 沼 津 教 育 振 興 会 事 務 局 長
長 田 直 樹	沼 津 市 福 祉 施 設 連 絡 協 議 会 副 会 長
小 池 邦 廣	沼 津 市 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 会 長
小 林 規 矩 夫	沼 津 市 子 ど も 会 育 成 連 絡 協 議 会 副 会 長
笹 津 海 道	沼 津 市 仏 教 会 会 長
田 中 功	沼 津 市 災 害 ボ ラ ン テ ィ ア コ ー デ ィ ネ ー タ ー 協 会 会 長
露 木 博 幸	公 益 社 団 法 人 成 年 後 見 セ ン タ ー ・ リ ー ガ ル サ ポ ー ト 静 岡 支 部
鶴 田 安 弘	社 会 福 祉 法 人 あ し た か 太 陽 の 丘 理 事
中 山 勝	学 識 経 験 者
山 内 良 太	沼 津 市 福 祉 事 務 所 長

## 地区社会福祉協議会一覧表

No.	地区社会福祉協議会名	設立年月日
1	大岡地区社会福祉協議会	平成元年5月28日
2	大平地区社会福祉協議会	平成元年8月20日
3	浮島地区社会福祉協議会	平成元年9月1日
4	愛鷹地区社会福祉協議会	平成元年10月27日
5	西浦地区社会福祉協議会	平成2年8月19日
6	今沢地区社会福祉協議会	平成2年11月15日
7	第四地区社会福祉協議会	平成2年12月11日
8	開北地区社会福祉協議会	平成4年2月27日
9	第三下香貫地区社会福祉協議会	平成4年2月28日
10	片浜地区社会福祉協議会	平成4年3月18日
11	第五地区社会福祉協議会	平成4年10月31日
12	金岡地区社会福祉協議会	平成4年12月7日
13	第二地区社会福祉協議会	平成4年12月13日
14	内浦地区社会福祉協議会	平成5年11月28日
15	静浦地区社会福祉協議会	平成6年2月19日
16	原地区社会福祉協議会	平成6年12月13日
17	第三地区社会福祉協議会	平成9年3月8日
18	門池地区社会福祉協議会	平成11年12月17日
19	戸田地区社会福祉協議会	平成17年4月25日
20	第一地区社会福祉協議会	平成25年5月17日

## 社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会の沿革

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1951年 昭和26年	<ul style="list-style-type: none"> <li>沼津市社会福祉協議会設立総会を沼津市役所で開催（10月2日）</li> </ul>	井口 勲 <1951.4～ 1953.12>
1952年 昭和27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県福祉資金制度の創設に伴い、同資金申込み受付事務を開始</li> </ul>	
1953年 昭和28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人福祉週間（9月15日から21日）にあたり、敬老感謝演芸会を沼津市社協、連合婦人部、赤十字奉仕団の共催で実施</li> <li>※昭和31年度以降は市の事業</li> </ul>	
1954年 昭和29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「耳の日無料相談会」を開始</li> <li>※以後、毎年3月3日を「耳の日」と定め実施。平成4年度以降は「耳の日聞こえの相談と記念講演のつどい」に変更し実施</li> </ul>	勝又嘉一 <1954.4～ 1962.3>
1955年 昭和30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同募金の配分金を得て、児童遊園の設置、拡充を図る</li> </ul>	
1958年 昭和33年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民全戸が社会福祉協議会の一般会員として加入し、地域組織活動の強化を拡充する（一般会費 一戸年額10円）</li> <li>沼津市子ども世話人連合会（以下「沼子連」）が結成される（昭和34年2月28日。子ども大会等の実施や福祉に欠ける児童の発見、見送りに協力する。）</li> </ul>	
1959年 昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> <li>※全国的に共同募金倍加運動が展開される</li> <li>内職共同授産所を開設（低所得世帯の更生を図るため、全国に例のない民間会社の協力によって実施。矢崎内職共同授産所へ就労斡旋。）</li> </ul>	
1961年 昭和36年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心配ごと相談所」を福祉事務所内の生活相談室に置き、毎日9時から15時までの間、民生委員が交替で相談に応じる</li> <li>小口資金、緊急援護、経費診療などの限度額（3千円）を5千円に改定</li> <li>「目の愛護デー無料相談」を盲学校と共催で実施（10月10日）</li> <li>※以後、昭和51年度まで毎年度実施</li> </ul>	
1963年 昭和38年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心配ごと相談所」を福祉事務所から蓮光寺地藏堂に変更して毎日開催</li> <li>「結婚相談事業」を開始</li> </ul>	塩谷六太郎 <1962.4～ 1969.7>
1966年 昭和41年	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会及び総会において「社会福祉法人沼津市社会福祉協議会設立認可申請」、「沼津市社会福祉協議会解散」及び「沼津市社会福祉協議会基本財産及び運用財産の寄付」を議決し、厚生大臣あてに「社会福祉法人認可申請書」を提出（9月30日）</li> <li>昭和42年2月28日付けをもって、厚生大臣から「社会福祉法人沼津市社会福祉協議会」の設立が認可</li> </ul>	
1967年 昭和42年	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療援護及び小口資金の貸付限度額（5千円）を1万円に改定</li> </ul>	
1969年 昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心配ごと相談事業」を、市からの委託事業として実施</li> <li>※平成2年度以降は社協の自主事業に切り替え、平成3年度には「福祉総合相談事業」と改称</li> <li>「第1回沼津市社会福祉大会～福祉沼津の実現をはかるために」を市役所大会議室で開催（6月6日）（功労者の表彰と感謝状の贈呈、大会宣言、福祉映画の上映など）※以後、隔年開催</li> <li>老人社会活動促進事業を老人福祉センター内で開始</li> <li>※昭和47年度以降は「高齢者職業相談事業」に改称。平成3年度以降は自主事業（補助対象）となり、平成8年度以降は「福祉総合相談事業（福祉生活相談）」に統合</li> <li>社協広報活動として「社協だより第1号」を発刊（第2号以降発行休止、昭和55年5月15日再発行）</li> </ul>	原 精一 <1969.8～ 1972.3>

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1971年 昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉会館建設資金」の積立を開始</li> <li>・社会福祉協議会の一般会費（年額10円）を20円に改定、「特別会費年額千円以上」を新設</li> <li>・「狩野川台風殉難者大追悼会」を主催</li> <li>・社会福祉事業法制定20周年記念</li> <li>・「第2回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	原 精一 <1969.8～ 1972.3>
1972年 昭和47年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の一般会費（年額20円）を30円に改定</li> <li>・市からの受託事業「老人社会活動促進事業」を「高齢者職業相談事業」に改称</li> </ul>	清水清二 <1972.4～ 1973.8>
1973年 昭和48年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の低所得世帯ねたきり老人を対象に、希望世帯に「テレビ貸与」を実施</li> <li>・老人福祉センター送迎用バスの運行事業を開催</li> <li>・「第3回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1974年 昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の一般会費（年額30円）を50円に改定</li> <li>・財団法人老人福祉研究会より入浴サービス車1台の貸与を受け、ねたきり高齢者を対象とした巡回による入浴サービス事業が開始されるに伴い、同事業に老人家庭奉仕員（2人）を派遣</li> </ul>	大島佐重 <1973.9～ 1982.3>
1975年 昭和50年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「くらしの資金貸付制度」を新設</li> <li>・「無縁仏供養」の開催を市から受託 ※平成2年度以降は社協事業として実施</li> <li>・「社会奉仕活動センター」を開設（昭和51年1月1日）</li> <li>・「第4回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1976年 昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通産業災害遺児援護基金を設立（昭和51年に指定寄附金を積立）</li> <li>・点訳ボランティアにより「点字列車時刻表」を作製（社会奉仕活動センター事業。昭和57年度以降は「点字カレンダー」を作製）</li> <li>・ボランティアによる「福祉施設への奉仕」「在宅児者への奉仕」「福祉施設の清掃奉仕」等を実施</li> </ul>	
1977年 昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高額療養費支払資金貸付制度」を新設（4月1日）</li> <li>・「第5回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1978年 昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動のための拠点として、静岡県ボランティア協会が八幡町に「静岡県東部ボランティアビューロー」を開設（～昭和56年度）</li> <li>・「ボランティア交流会」を開催</li> <li>・「おもちゃ病院」を開設</li> <li>・「ボランティア相談コーナー」を開設</li> </ul>	
1979年 昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「被保護世帯の高校新入学者支度援助」（祝金1万円）を開始</li> <li>・「車いすの貸出サービス」を開始</li> <li>・「第6回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1980年 昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の一般会費（年額50円）を100円に改定</li> <li>・「自閉症児童援護のための助成」を実施（親の会の活動の支援）</li> <li>・「手芸ボランティアスクール」を開催</li> <li>・社協広報紙「社協だより第1号」を再刊行（市内全世帯に配布。平成7年5月「ふれあいねっとわ〜く」と改題）</li> <li>・「静岡県東部ふれあい広場」を開催</li> </ul>	
1981年 昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県ボランティア協会開設による「静岡県東部ボランティアビューロー」を、沼津市社会福祉協議会開設による「沼津ボランティアビューロー」に改組（昭和57年2月1日）</li> <li>・「第7回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1982年 昭和57年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアビューローに常駐職員を配置し、ボランティアの開発、ニーズの把握、開拓に努める</li> <li>・点訳ボランティアにより、点字列車時刻表のほか「点字カレンダー」が作製</li> </ul>	芹澤喜久雄 <1982.4～ 1984.3>

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1983年 昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアビューローに専任常駐職員（1人）を配置</li> <li>・「中高生ボランティアスクール」を開催</li> <li>・「第8回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	芹澤喜久雄 <1982.4～ 1984.3>
1984年 昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大岡地区を「福祉推進モデル地区」に指定し、「ことぶきサロン」を開始（開北：60年度以降、金岡地区：63年度以降、片浜地区：平成2年度）</li> <li>・「アイ ボランティア養成講座」（一日点字教室、朗読と語り部奉仕者養成講座）を開催</li> <li>・「福祉とボランティアを考える市民講座」を開催</li> <li>・「沼津ことばの教室」を開催</li> </ul>	遠藤武雄 <1984.4～ 1994.3>
1985年 昭和60年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアビューロー常駐職員として、ボランティアコーディネーターを配置</li> <li>・静岡県社会福祉協議会の「地域福祉推進モデル事業地区」の指定を受け、沼津市における地域福祉推進活動の方向を求めて、実験的モデル地区を大岡地区に設定</li> <li>・「第9回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1986年 昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大岡中学校が、静岡県社会福祉協議会より「福祉実践校」の指定を受ける（昭和61年度～63年度）</li> <li>・社会福祉協議会会員規程の内容に「福祉事業会員（会費年額5千円）」を新設</li> </ul>	
1987年 昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループに対する助成を実施（ボランティア保険の保険料・グループ活動の助成）</li> <li>・地域福祉の理解・啓発活動として「福祉に関する映画会」を開催（昭和62年から平成2年度。平成3年度以降は、各地区社協活動として実施）</li> <li>・「第10回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1988年 昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会設立準備のため視察・研修等を実施</li> <li>・「第1回沼津市社会福祉展」を開催（平成元年2月16日～18日）</li> </ul>	
1989年 昭和64年 (平成元年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4地区で「地区社会福祉協議会」が発足（5月：大岡地区、8月：大平地区、9月：浮島地区、10月：愛鷹地区）</li> <li>・「チャリティバザール」を開催（平成元年11月12日）</li> <li>・「第11回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1990年 平成2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアビューロー（昭和53年開設）を八幡町から真砂町に移転</li> <li>・市内3地区で、「地区社会福祉協議会」が発足（8月：西浦地区、11月：今沢地区、12月：第四地区。市内で7地区社協となる）</li> <li>・「在宅介護者リフレッシュ事業」を実施（平成5年に「在宅介護者の会」が発足する）</li> </ul>	
1991年 平成3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内3地区で「地区社会福祉協議会」が発足（2月：開北地区、第三下香貫地区、3月：片浜地区。市内で10地区社協となる）</li> <li>・「ふれあい福祉センター」を開設（従来の各種相談事業を一本化し、福祉情報センター機能を強化）</li> <li>・「小地域福祉ネットワークづくり事業」を実施（地区社会福祉協議会の組織化と活動の活発化を図る）</li> <li>・「福祉施設地域福祉啓発事業」を実施（福祉施設連絡協議会の組織を発展）</li> <li>・「地区社会福祉協議会連絡協議会」を設立</li> <li>・「相談機関連絡協議会」を開催</li> <li>・「第12回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1992年 平成4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の一般会費（年額100円）を200円に改定</li> <li>・市内3地区で「地区社会福祉協議会」が発足（10月：第五地区、12月：金岡地区、第二地区。市内で13地区社協となる）</li> <li>・「耳の日聞こえの相談と記念講演のつどい」を実施（「耳の日無料相談会」から改称）</li> <li>・「母子・父子家庭、交通・産業遺児レクリエーション事業」を実施</li> </ul>	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1993年 平成5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内2地区で「地区社会福祉協議会」が発足（11月：内浦地区、2月：静浦地区。市内で15地区社協となる。）</li> <li>「地域福祉活動計画」の策定に着手</li> <li>「沼津市在宅家族の会設立総会」が開催</li> <li>「第13回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	遠藤武雄 <1984.4～ 1994.3>
1994年 平成6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（12月：原地区。市内で16地区社協となる）</li> <li>「地域住民が主役の福祉のまちづくり運動」実施期間</li> <li>「沼津市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定</li> <li>「社会奉仕活動センター」を「ボランティアセンター」に改称</li> </ul>	芹澤茂男 <1994.4～ 2001.3>
1995年 平成7年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次地域福祉活動計画 &lt;期間：平成7年4月～平成13年3月&gt;</li> <li>高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」（世代交流センター・老人福祉センター・千本在宅介護支援センター・千本デイサービスセンター）の管理運営及び入浴サービス事業の運営を沼津市から受託</li> <li>「やさしい精神保健ボランティア講座」を開催</li> <li>社協広報紙「社協だより」を第48号から「社協だより ふれあいねっとわ〜く」に改題</li> <li>「第14回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1996年 平成8年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（3月：第三地区。市内で17地区社協となる）</li> <li>福祉総合相談所「ふれあい福祉相談センター」を開設（福祉生活相談、結婚相談、ボランティア相談、介護健康相談に改編）</li> <li>沼津市ボランティア連絡協議会「総会」を開催</li> <li>社会福祉協議会「45年史・社会福祉法人設立30周年」記念誌の編集</li> <li>「託児ボランティア養成講座」の開催</li> </ul>	
1997年 平成9年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第15回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
1998年 平成10年	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年ふれあい交流事業の開催</li> <li>福祉施設地域福祉活動啓発事業の実施（「福祉施設連絡協議会」活動の福祉施設見学研修会、福祉施設利用者作品展示販売、福祉施設職員一泊研修交流会等の実施）</li> </ul>	
1999年 平成11年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（12月：門池地区。市内で18地区社協となる）</li> <li>「録音グループボランティア養成講座」の開催</li> <li>「在宅介護ボランティア養成講座」の開催</li> <li>「第16回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
2000年 平成12年	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険法に施行に伴い、介護保険事業所の指定を得て、「訪問介護」「通所介護」「居宅介護支援」の居宅介護事業を開始</li> <li>地域福祉権利擁護事業を静岡県社会福祉協議会から受託</li> </ul>	
2001年 平成13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録団体、グループ数の登録数56団体</li> <li>沼津市から「いきいきホーム松下」の運営を受託（10月）</li> <li>「第17回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	山本三朗 <2001.4～ 2008.3>
2002年 平成14年	<ul style="list-style-type: none"> <li>片浜小学校、第二中学校、片浜中学校を「福祉教育実践校」に指定（平成14年度～16年度）</li> </ul>	
2003年 平成15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>沼津市社会福祉会館を高沢町から千本に移転（2月23日）</li> <li>居宅支援費事業「沼津市社会福祉協議会障害者（児）居宅介護事象所」の指定を受ける</li> <li>「第18回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2004年 平成16年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校が連携してより良い福祉教育を展開していくことを目的に「福祉教育・セミナー」を開催</li> </ul>	山本三朗 <2001.4～ 2008.3>
2005年 平成17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（4月：戸田地区。市内で19地区社協となる）</li> <li>・千本小学校、沼津中央高等学校を「福祉教育実践校」に指定（平成17年度～19年度）</li> <li>・「第19回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
2006年 平成18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2次地域福祉活動計画 &lt;期間：平成18年4月～平成23年3月&gt;</li> <li>・沼津市より「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受託</li> <li>・沼津市より「沼津市中央地区千本地域包括支援センター」を受託（第一・第二・片浜の一部を担当圏域とする）</li> </ul>	
2007年 平成19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市から「ぬまづ健康福祉プラザ」の指定管理を受託（12月1日）</li> <li>・沼津市社会福祉協議会の事務所をサンウエルぬまづ内に移転</li> <li>・「沼津市ボランティアビューロー」の閉鎖</li> <li>・「第20回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
2009年 平成21年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「傾聴ボランティア養成講座」を開講</li> <li>・「第21回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	日高達也 <2008.4～ 2013.3>
2010年 平成22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災（平成23年3月11日）発生後、被災地支援として岩手県下閉伊郡山田町に応援職員（8名）を派遣（～平成23年度まで続く）</li> <li>・リーマンショックの影響により貸付資金の件数が大幅に増加</li> </ul>	
2011年 平成23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3次地域福祉活動計画 &lt;期間：平成23年4月～平成28年3月&gt;</li> <li>・「第22回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
2012年 平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津中央高等学校を「福祉教育実践校」に指定（平成23年～24年度）</li> </ul>	
2013年 平成25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（5月：第一地区。市内で20地区社協となる）</li> <li>・婚活事業として「サンウエル de 愛カフェ」を開催</li> <li>・「第23回沼津市社会福祉大会」を開催</li> <li>・西伊豆町豪雨災害（7月18日）発生後、被災地支援として賀茂郡西伊豆町に応援職員（1名）を派遣</li> <li>・豪雪非常災害（平成26年2月14日～16日）発生後、被災地支援として駿東郡小山町に応援職員（4名）を派遣</li> </ul>	佐野謹爾 <2013.4～ 2017.6>
2014年 平成26年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一中学校、片浜中学校、沼津高等学校中等部、沼津西高等学校を「福祉教育実践校」に指定</li> </ul>	
2015年 平成27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第24回沼津市社会福祉大会」を開催</li> <li>・関東・東北豪雨災害（9月10日～11日）発生後、被災地支援として茨城県常総市に応援職員（1名）を派遣</li> </ul>	
2016年 平成28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第4次地域福祉活動計画 &lt;期間：平成28年4月～令和3年3月&gt;</li> <li>・沼津市より「市民後見推進事業」を受託し、「市民後見人養成講座」を開催</li> <li>・介護保険外サービス事業を開始</li> <li>・法人後見を受任</li> <li>・「駅北居宅介護支援事業所」を開所</li> <li>・熊本地震（4月14日）発生後、被災地支援として熊本県阿蘇郡西村町に応援職員（1名）を派遣</li> </ul>	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2017年 平成29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市として1人目（静岡県内2人目）の市民後見人が誕生（12月）</li> <li>・「ちょいてつサービス入門講座」を開始</li> <li>・「沼津市社会福祉協議会法人化50周年、サンウェルぬまづ10周年記念イベント」を開催</li> <li>・「さっさかエクササイズ」をアスルクラロ沼津と共同で作成</li> <li>・「第25回沼津市社会福祉大会」を開催</li> </ul>	
2018年 平成30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市より「生活支援体制整備事業」を受託</li> <li>・政策運営会議により社内での情報共有を図る</li> <li>・西日本豪雨災害（7月5日～8日）発生後、被災地支援として広島県呉市に応援職員（3名）を派遣</li> </ul>	
2019年 平成31年 (令和元年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所に関する相談支援・居場所連絡会の実施</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「緊急小口資金等特例貸付」開始（令和元年3月～令和4年9月まで）</li> <li>・「第26回沼津市社会福祉大会」の開催 ※会場を沼津市民文化センターからサンウェルぬまづに移す</li> <li>・房総半島台風による災害（9月9日）発生後、被災地支援として千葉県富津市に応援職員（2名）を派遣</li> <li>・東日本台風による災害（10月13日）発生後、被災地支援として長野県長野市に応援職員（1名）を派遣</li> <li>・沼津市社協人材育成方針を作成し、職員教育を充実させる（新規採用研修、部署間連携研修、テーマに沿ったグループ研究、経営感覚向上研修）</li> </ul>	
2020年 令和2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市から「ひとり親家庭等生活向上事業『こどもの居場所』」を受託</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の蔓延により、「オンライン通いの場」の試行実験を実施</li> <li>・「駅北居宅介護支援事業所」（8月31日）、「いきいきホーム松下」（3月31日）の廃止</li> <li>・5部門の委員会を設置（広報委員会、財政基盤強化検討委員会、研修委員会、地域福祉活動計画委員会、沼津市社会福祉大会実行委員会）</li> </ul>	工藤達朗 <2017.6～ 2025.6>
2021年 令和3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第5次地域福祉活動計画 &lt;期間：令和3年4月～令和7年3月&gt;</li> <li>・第4次沼津市地域福祉計画（沼津市）と第5次地域福祉活動計画（沼津市社協）を合冊で策定</li> <li>・組織改編を行い、福祉企画課、介護支援課、施設管理課、生活支援センターを設置</li> <li>・特定相談支援事業及び障害相談支援事業を開始（4月1日）</li> <li>・熱海市伊豆山土石流災害（7月3日）発生後、被災地支援として熱海市に応援職員（3名）を派遣</li> <li>・大雨による原・浮島地区の水害対策支援として「地域ささえあいセンター」を設置（7月7日～22日）</li> <li>・沼津市より「沼津市成年後見支援センター」を受託し、開所（10月1日）</li> <li>・「沼津市千本デイサービスセンター」を「千本デイサービスセンター」に名称変更</li> <li>・「第27回沼津市社会福祉大会」の開催</li> <li>・感染症の影響により「福祉教育出前講座」をリモートで実施</li> <li>・「沼津市支え合い地域資源マップ（第1版）」を発刊</li> </ul>	
2022年 令和4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市より「沼津市子どもの居場所づくりコーディネート事業」を受託</li> <li>・ブックオフコーポレーション(株)と宅配買取寄附サービス「キモチと。」に取り組む</li> <li>・1部門の委員会を新たに設置（災害支援対策委員会）</li> <li>・台風8号による大雨災害（8月14日）発生後、被災地支援として賀茂郡松崎町に応援職員（3名）を派遣</li> <li>・台風15号による大雨災害（9月23日）発生後、被災地支援として静岡市清水区に応援職員（18名、21回）を派遣</li> <li>・「福祉教育ハンドブック（第1版）」を発行</li> <li>・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結（5団体） ①ブックオフコーポレーション株式会社 ②沼津信用金庫 ③一般社団法人沼津青年会議所 ④アスルクラロスルガ株式会社 ⑤学校法人青淵学園 東都大学 （相互の資源を活用し、健康と福祉の増進に資するための包括的連携協定）</li> </ul>	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2023年 令和5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風2号による大雨災害、原・浮島・大岡・第五南地区の災害対策支援として「沼津市災害ボランティアセンター」を設置（6月2日～8月30日）</li> <li>・沼津市の地域包括支援センターの圏域変更に伴い、沼津市中央地区千本地域包括支援センター第四支所を吉田町に構える（第一・第二・第四・片浜の一部を担当圏域とする）</li> <li>・マックスバリュ東海㈱の協力により、買物困難者を対象にした移動スーパーを展開（6月1日～）</li> <li>・「第28回沼津市社会福祉大会」の開催</li> <li>・戸田地区生活支援サービス「笑～ら」の設立に協力</li> <li>・小学生を対象に福祉の職業体験「キッズケア」の実施を開始</li> <li>・能登半島地震（令和6年1月1日）発生後、被災地支援として石川県珠洲市に支援調整職員（1名）、同県七尾市に応援職員（1名）を派遣</li> <li>・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校法人青淵学園 東都大学（災害資機材保管場所貸借に関する協定）</li> <li>②沼津市（災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定）</li> <li>③沼津ライオンズクラブ（災害ボランティアセンター支援に関する協定）</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">工藤達朗 &lt;2017.6～ 2025.6&gt;</p>
2024年 令和6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年6月豪雨による大雨災害、大平・静浦地区の災害対策支援として「沼津市災害ボランティアセンター」を設置（6月19日～9月14日）</li> <li>・2市2町社会福祉協議会（裾野市、長泉町、清水町）「災害ボランティアセンター運営訓練」を開始</li> <li>・門池地区生活支援サービス「門池ちよいてつサービス」の設立に協力</li> <li>・「沼津市支え合い地域資源マップ（第2版）」を発刊</li> <li>・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結 <ul style="list-style-type: none"> <li>①沼津香陵ライオンズクラブ（災害ボランティアセンター支援に関する連携協定）</li> <li>②株式会社ルネサンス、沼津市（災害時における施設一時使用等に関する協定）</li> </ul> </li> </ul>	
2025年 令和7年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織改編を行い、総務企画課、地域福祉課、介護支援課、施設管理課、成年後見支援センターを設置</li> <li>・「第29回沼津市社会福祉大会」の開催</li> <li>・千本プラザが30周年を迎え、来場者イベント開催</li> <li>・大平地区生活支援サービス「ちいてつ（ちいさなお手伝い活動）」の設立に協力</li> <li>・重層的支援体制整備事業を開始</li> <li>・沼津市より「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を受託</li> <li>・鹿児島・熊本大雨災害（令和7年8月6日）発生後、被災地支援として鹿児島県霧島市に災害ボランティアセンター運営支援調整職員（1名）を派遣</li> <li>・台風15号による突風被害（令和7年9月5日）発生後、被災地支援として静岡県伊東市に災害ボランティアセンター運営支援調整職員（1名）、同県榛原郡吉田町に災害ボランティアセンター運営支援調整職員（2名）、応援職員（2名）を派遣</li> <li>・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結 <ul style="list-style-type: none"> <li>①隊友会沼津支部（災害ボランティアセンター支援に関する連携協定）</li> <li>②裾野市社会福祉協議会、長泉町社会福祉協議会、清水町社会福祉協議会（災害時における相互応援協定）</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">碓谷明正 &lt;2025.6～&gt;</p>



社会福祉協議会  
シンボルマーク



社会福祉および社協の『社』を図案化し、「手を取りあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。  
(昭和47年6月制定/全社協)

---

---

**沼津市の社協活動**

**2026**

発行者 社会福祉法人

沼津市社会福祉協議会

〒410-0032 沼津市日の出町1-15

サンウェルぬまづ  
(ぬまづ健康福祉プラザ)

電話 055(922)1500

FAX 055(922)1502

---

---



# 「福祉のまちづくり」をすすめる社協活動の拠点

## サンウェルぬまづ

(ぬまづ健康福祉プラザ)

〒410-0032 沼津市日の出町 1-15

■社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会  
沼津市共同募金委員会  
TEL 055-922-1500 FAX 055-922-1502  
Eメール: info@numazu-shakyo.jp  
ホームページ: http://numazu-shakyo.jp/

■沼津市成年後見支援センター  
TEL 055-924-4455 FAX 055-924-4457

■サンウェルぬまづ管理事務所  
TEL 055-922-2020 FAX 055-922-1502  
Eメール: info@n-plaza.jp  
ホームページ: http://www.n-plaza.jp/

■ふれあい交流室  
TEL 055-922-1501 FAX 055-922-0102

■福祉相談センター  
TEL 055-922-1350

## 千本プラザ

(沼津市高齢者等福祉世代交流活動施設)

〒410-0867 沼津市本字千本 1910-206

■千本プラザ管理事務所  
■沼津市世代交流センター  
■沼津市老人福祉センター  
TEL 055-962-3313  
FAX 055-962-5346  
Eメール: senbon-plaza@yr.tnc.ne.jp  
HP: https://senbon-plaza.sakura.ne.jp/

■千本地域包括支援センター

TEL 055-962-5932  
FAX 055-962-5348

■千本デイサービスセンター

TEL 055-962-5923  
FAX 055-962-5348



## 千本ホームヘルプ・ケアマネジメントセンター

〒410-0853 沼津市常盤町 1-19-1

■指定訪問介護事業所	TEL 055-955-5100	FAX 055-951-0034
■指定居宅介護事業所	TEL 055-955-5100	FAX 055-951-0034
■千本居宅介護支援事業所	TEL 055-951-0003	FAX 055-951-0034
■障がい者相談支援事業所	TEL 055-951-0034	FAX 055-955-5099

■千本地域包括支援センター  
第四支所

〒410-0836  
沼津市吉田町 25-2  
浜ビル 1階

TEL 055-939-7300  
FAX 055-939-7301